

## **伊方原子力発電所周辺環境放射線等調査結果（令和7年度第1・ 四半期）について**

このことについて、別添のとおり取りまとめましたのでお知らせ  
します。（原子力情報ホームページ(<https://www.ensc.jp/>)で公開）

なお、この調査結果については、伊方原子力発電所環境安全管理  
委員会環境専門部会に意見照会し、問題ないことを確認いただい  
ております。

### **【各調査結果の概要】**

#### ○空間放射線の測定結果

伊方発電所の影響による有意な線量率の変化は認められなかった。

#### ○環境試料の放射能分析結果

伊方発電所からの放射性物質の放出による有意な測定値の変化は  
認められなかった。

伊方原子力発電所  
周辺環境放射線等調査結果  
(令和7年度 第1・四半期)

令和7年12月

愛 媛 県



## 目 次

は じ め に	1
I 環境放射線等調査	1
1 調査の目的及び範囲	1
2 調査機関	1
3 調査対象期間	1
4 前年度からの主な変更点	1
5 調査実施状況	2
6 調査地点	3
7 調査結果の評価	12
(1) 空間放射線	12
(2) 大気試料、環境試料、排水中放射能	24
(参考) 測定値の表示方法について	30
資料1 環境放射線等調査（愛媛県調査分）	31
資料2 環境放射線等調査（四国電力株調査分）	55
資料3 伊方発電所の運転管理状況	63



# は じ め に

愛媛県及び四国電力㈱は、「伊方原子力発電所周辺の安全確保及び環境保全に関する協定書」（以下「安全協定」という。）第8条に基づき調査を実施しており、この度、令和7年度第1・四半期の環境放射線等調査結果をとりまとめた。

## I 環境放射線等調査

### 1 調査の目的及び範囲

伊方発電所周辺の環境保全を図るとともに、公衆の安全と健康を守るため、原子力規制委員会において策定された「平常時モニタリングについて（原子力災害対策指針補足参考資料）」（以下「指針補足参考資料（平常時）」という。）に基づき、

- ① 周辺住民等の被ばく線量の推定及び評価（伊方発電所から5km圏内）
- ② 環境における放射性物質の蓄積状況の把握（同発電所から5km圏内）
- ③ 原子力施設からの予期しない放射性物質又は放射線の放出の早期検出及び周辺環境への影響評価（同発電所から5km圏内）
- ④ 緊急事態が発生した場合への平常時からの備え（同発電所からおおむね30km圏内）

を目的とする。

なお、伊方発電所では、放射性希ガスからのγ線による実効線量が最大となる地点及び気体廃棄物中に含まれる放射性ヨウ素による実効線量が最大となる地点が、同発電所から約500mと評価（伊方発電所原子炉設置変更許可申請時）されていること、従来の調査では同発電所から5km圏内を対象に被ばく線量の推定及び評価や放射性物質の蓄積状況の把握を行ってきたことから、伊方地域における目的①及び②の調査は、同発電所から5km圏内を対象として実施することが適当であると判断した<sup>(注)</sup>。

(注) 指針補足参考資料（平常時）においては、放射性希ガスからのγ線による実効線量が最大となる地点及び気体廃棄物中に含まれる放射性ヨウ素による実効線量が最大となる地点が、施設から10km圏内であることを踏まえ、目的①及び②の実施範囲を発電用原子炉施設から10km圏内としている。

### 2 調査機関

愛媛県及び四国電力㈱

### 3 調査対象期間

令和7年4月～令和7年6月

### 4 前年度からの主な変更点

○愛媛県実施分の空間放射線（定点測定及び走行測定）について、モニタリングカーから走行サーベイスシステムへ変更。

○愛媛県実施分の積算線量について、蛍光ガラス線量計からモニタリングステーション及びモニタリングポストの線量率からの算出に変更。

## 5 調査実施状況

調査項目等				愛媛県		四国電力(株)	
				地点数	頻度	地点数	頻度
空間放射線	線量率	モニタリングステーション及びモニタリングポスト		20	連続	15	連続
		通信機能付き電子線量計		58	連続	—	—
		NaI (Tl) シンチレーションスペクトロメータ等		9	1 回	4	1 回
		走行サーベイシステム (定点測定)		6	1 回	—	—
		可搬型ゲルマニウム半導体検出器		6	1 回	—	—
		可搬型モニタリングポスト		10	1 回	—	—
		走行サーベイシステム (走行測定)		5 ルート	1 回	—	—
	積算線量		8	3 か月ごと	25	3 か月ごと	
大気試料	大気浮遊じん (連続測定)		4	連続	—	—	
	大気浮遊じん (定期測定)		4	3 回	1	3 回	
	大気 (放射性ヨウ素)		3	3 回	1	3 回	
環境試料	陸上試料	土壌	狭域 <sup>(注1)</sup>	—	—	3	1 回
			広域 <sup>(注2)</sup>	3	1 回	—	—
		陸水	広域 <sup>(注2)</sup>	3	1 回	—	—
		農畜産食品	製茶	1	1 回	—	—
			牛乳 (原乳)	1	1 回	—	—
		植物 (杉葉)		2	1 回	1	1 回
		降下物・降水		1	3 回	—	—
	海洋試料	海水		1	1 回	2	1 回
		海底土		2	1 回	3	1 回
		海産生物	魚類	1	1 回(3 種類)	—	—
			無脊椎動物	1	1 回(2 種類)	1	1 回(1 種類)
			海藻類	1	1 回(4 種類)	2	1 回(2 種類)
	排 水			—	—	2	連続

(注1) 狭域は、伊方発電所から5km圏内を指す。

(注2) 広域は、伊方発電所からおおむね5～30km圏内を指す。

6 調査地点 図1～9のとおり。

項 目	愛媛県	四国電力(株)
モニタリングステーション及びモニタリングポスト	■	●
定期測定地点（線量率）	□	○
モニタリングポイント（積算線量）		○

(参考) 図中の番号は、地点番号を示す。

線量率と積算線量で地点が若干異なる場合には、線量率の測定地点を示した。

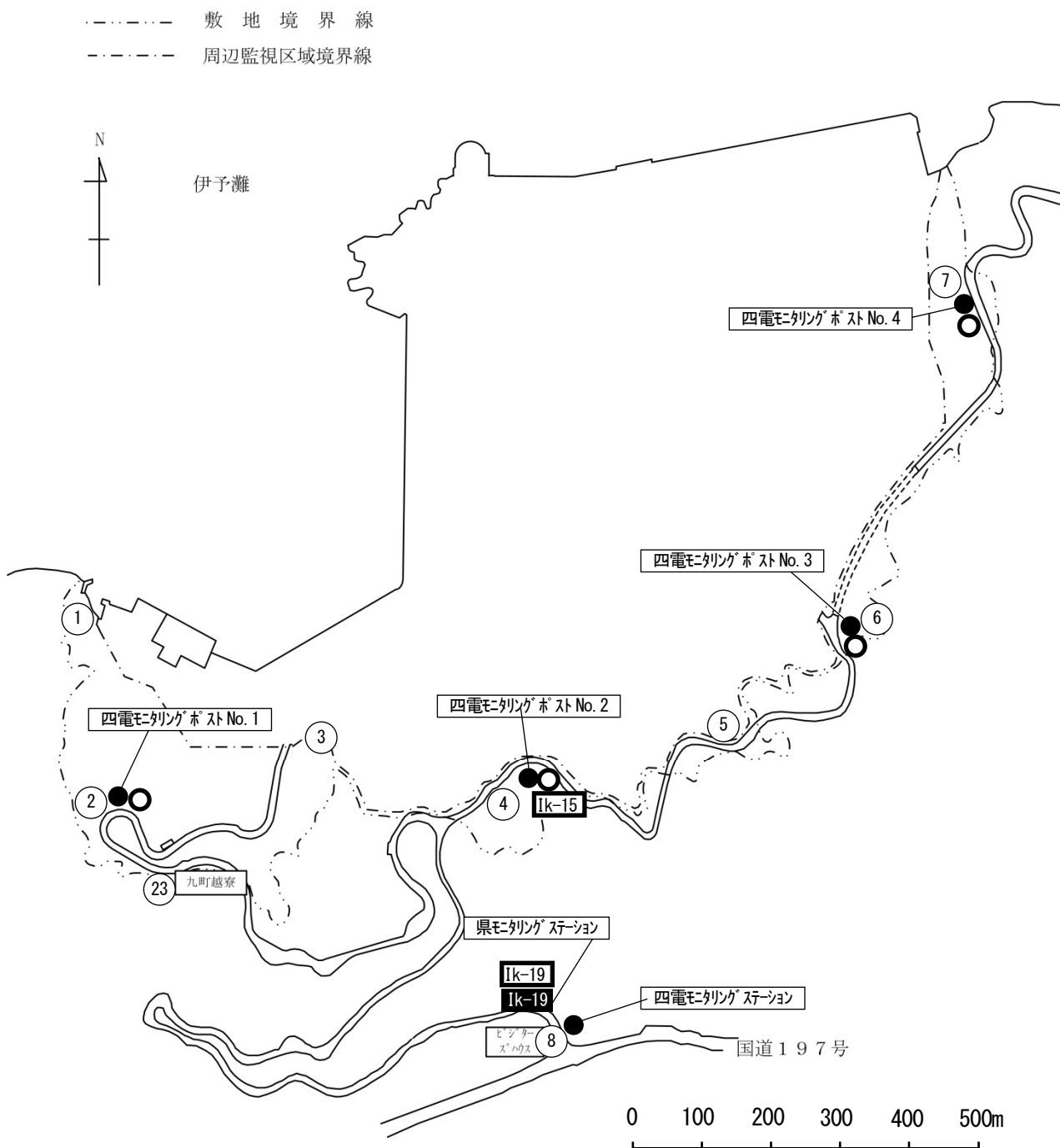


図 1 空間放射線 調査地点図 (発電所周辺)



項 目	愛媛県	四国電力(株)
大気試料、環境試料、排水	□	○

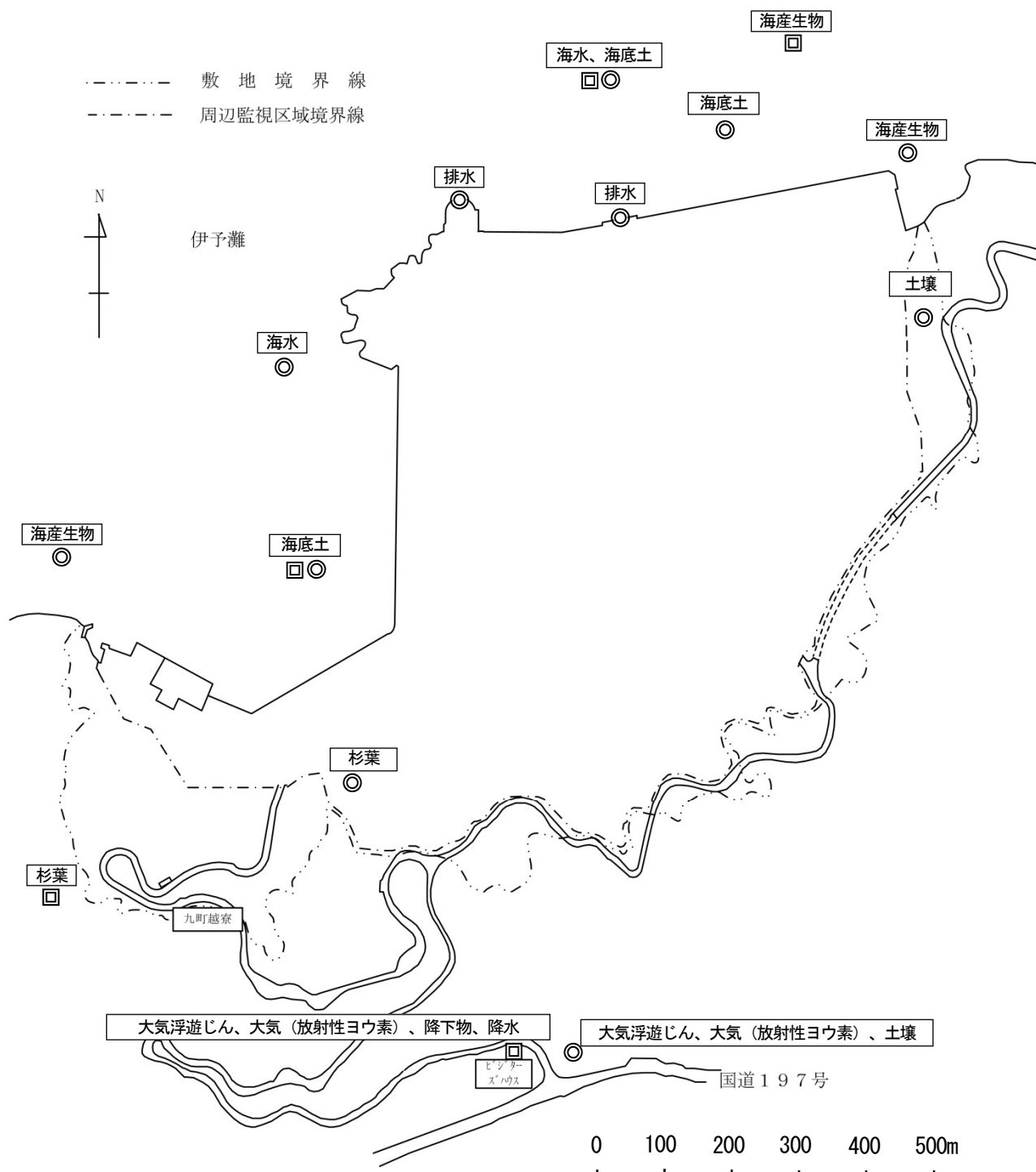


図2 大気試料、環境試料、排水 調査地点図（発電所周辺）

項 目	愛媛県	四国電力(株)
モニタリングステーション及びモニタリングポスト	■	●
定期測定地点（線量率）	□	
モニタリングポイント（積算線量）		○

(参考) 図中の番号は、地点番号を示す。

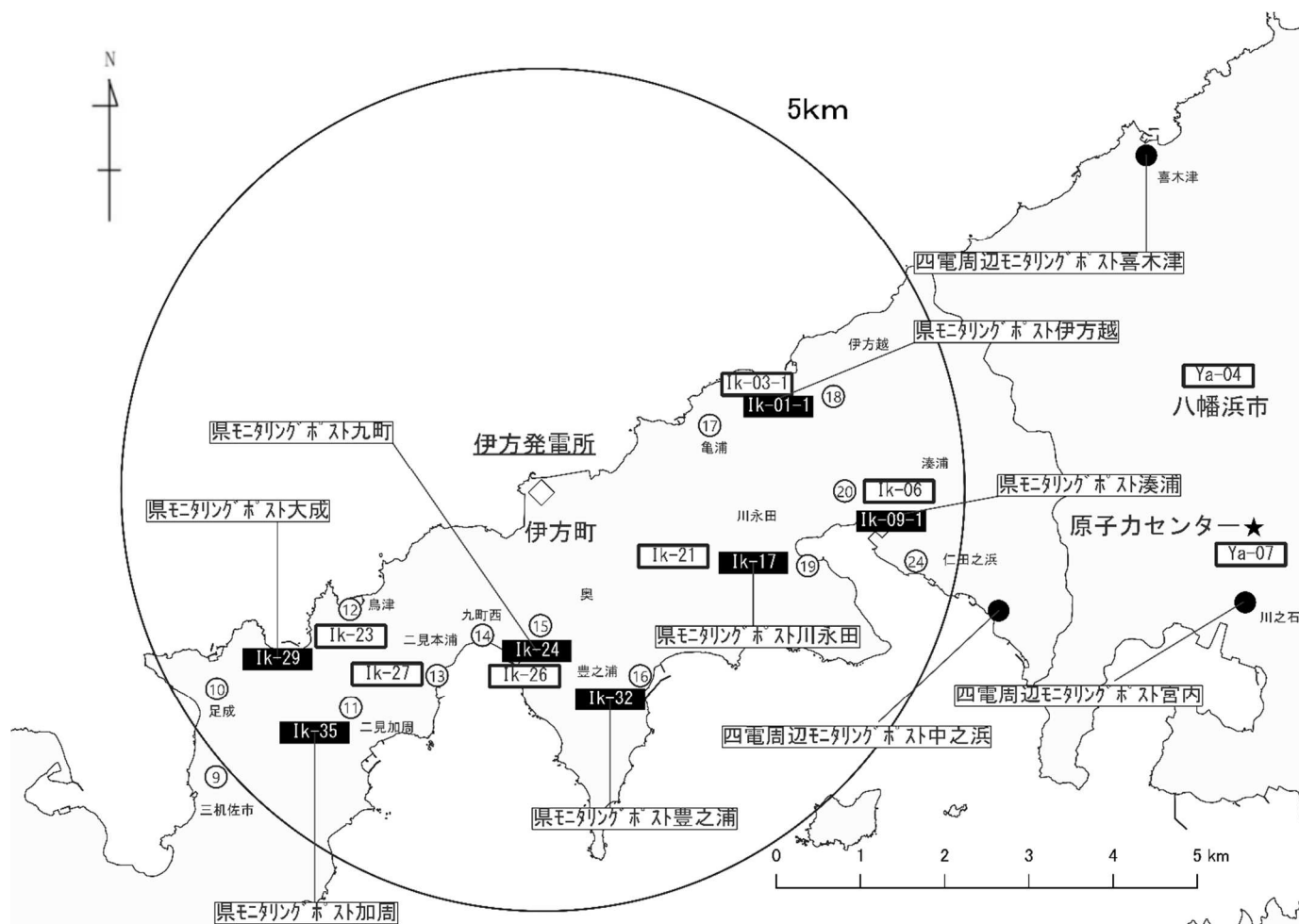


図3 空間放射線 調査地点図（伊方町周辺）



項 目	愛媛県	四国電力(株)
モニタリングステーション及びモニタリングポスト	■	●
定期測定地点（線量率）	□	
モニタリングポイント（積算線量）		○

(参考) 図中の番号は、地点番号を示す。

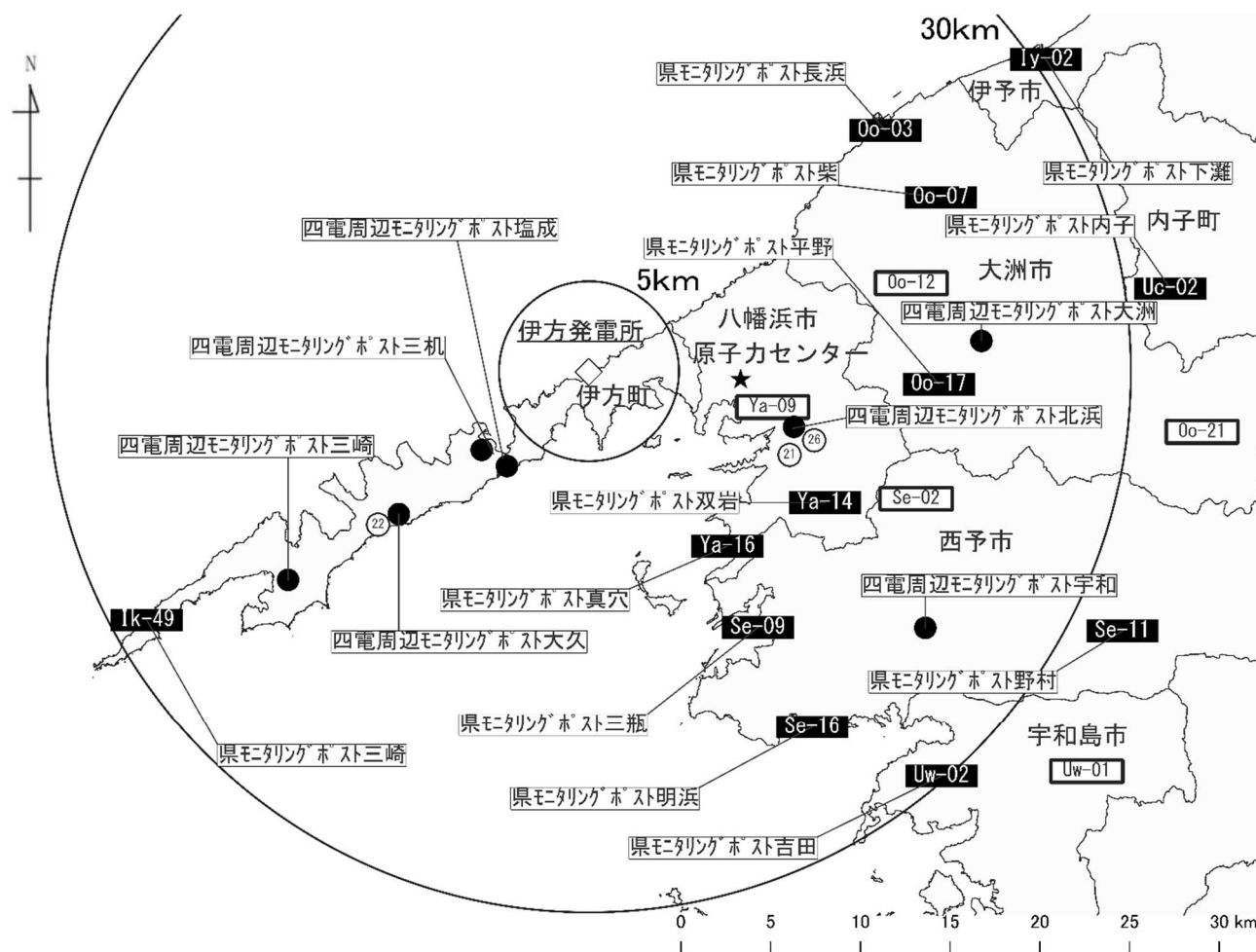


図5 空間放射線 調査地点図（広域）

項 目	愛媛県
環境試料	☐



図6 環境試料 調査地点図（広域）

項 目	愛媛県
土壌（広域）	◆
陸水（広域）	●

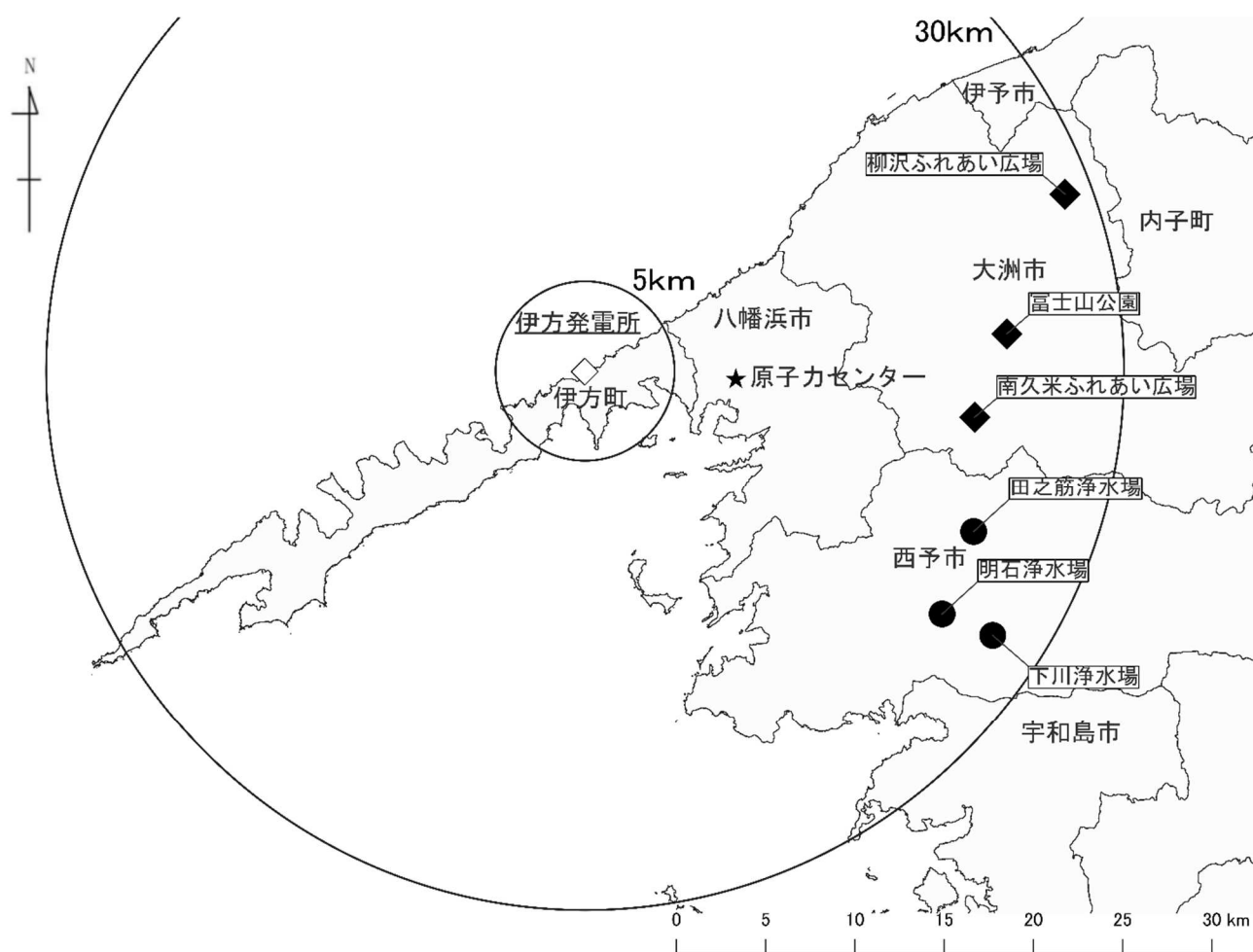


図7 土壌（広域）及び陸水（広域） 調査地点図

走行ルート	測定場所	測定地点（測定範囲）
①	国道 197 号	八幡浜市保内町宮内～伊方町三崎 (34.5km)
②	国道 378 号、国道 197 号、 県道 25 号、県道 26 号	八幡浜市保内町喜木津～西予市三瓶町長早 (26.9km)
③	国道 378 号、県道 24 号、 国道 56 号、国道 320 号	大洲市長浜～宇和島市天神町 (57.2km)
④	国道 378 号	八幡浜市保内町喜木津～伊予市双海町下灘 (30.7km)
⑤	国道 197 号、国道 56 号	八幡浜市江戸岡～内子町城廻 (28.9km)

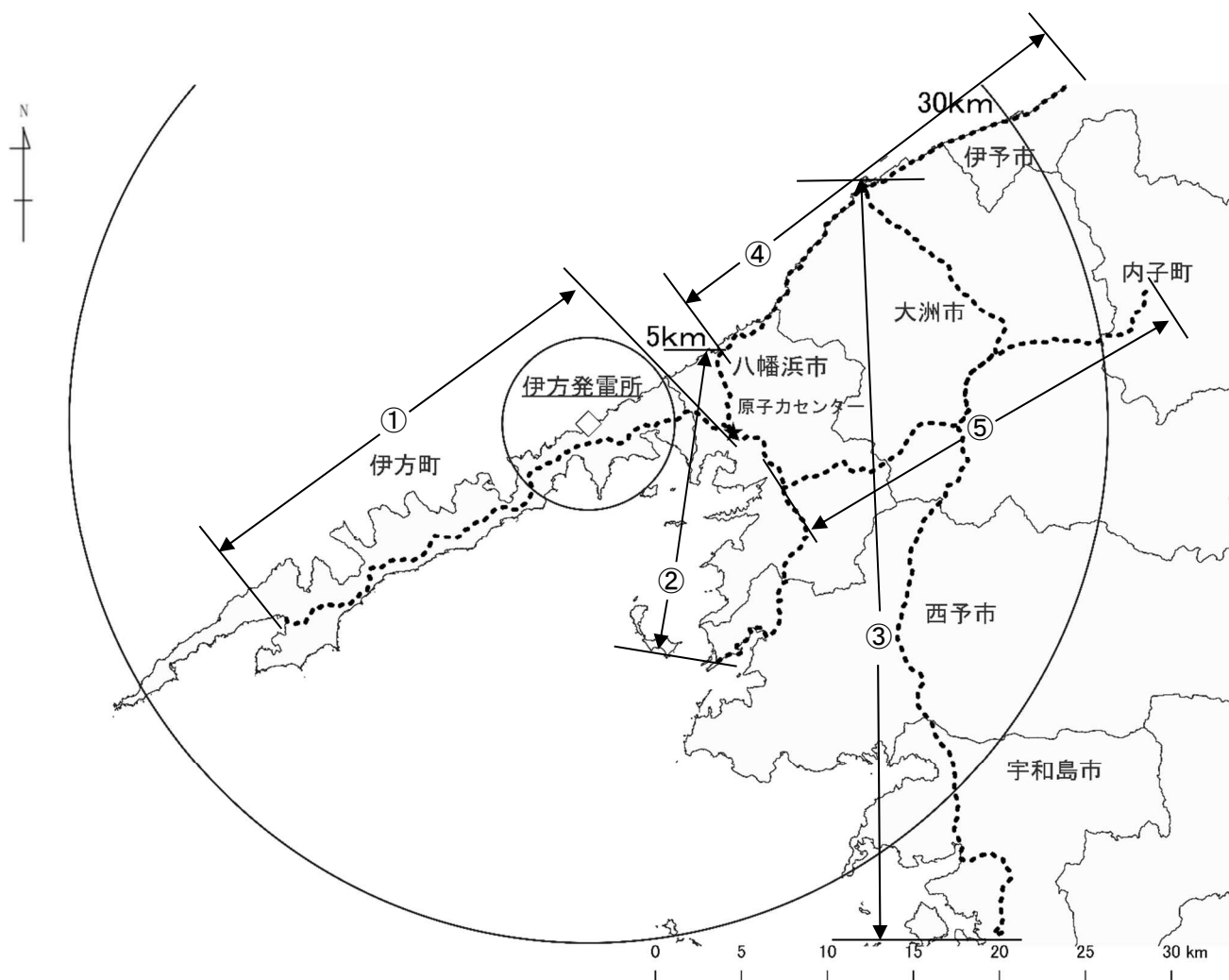


図 8 空間放射線 調査ルート図（走行測定）

項 目	愛媛県
通信機能付き電子線量計	▲

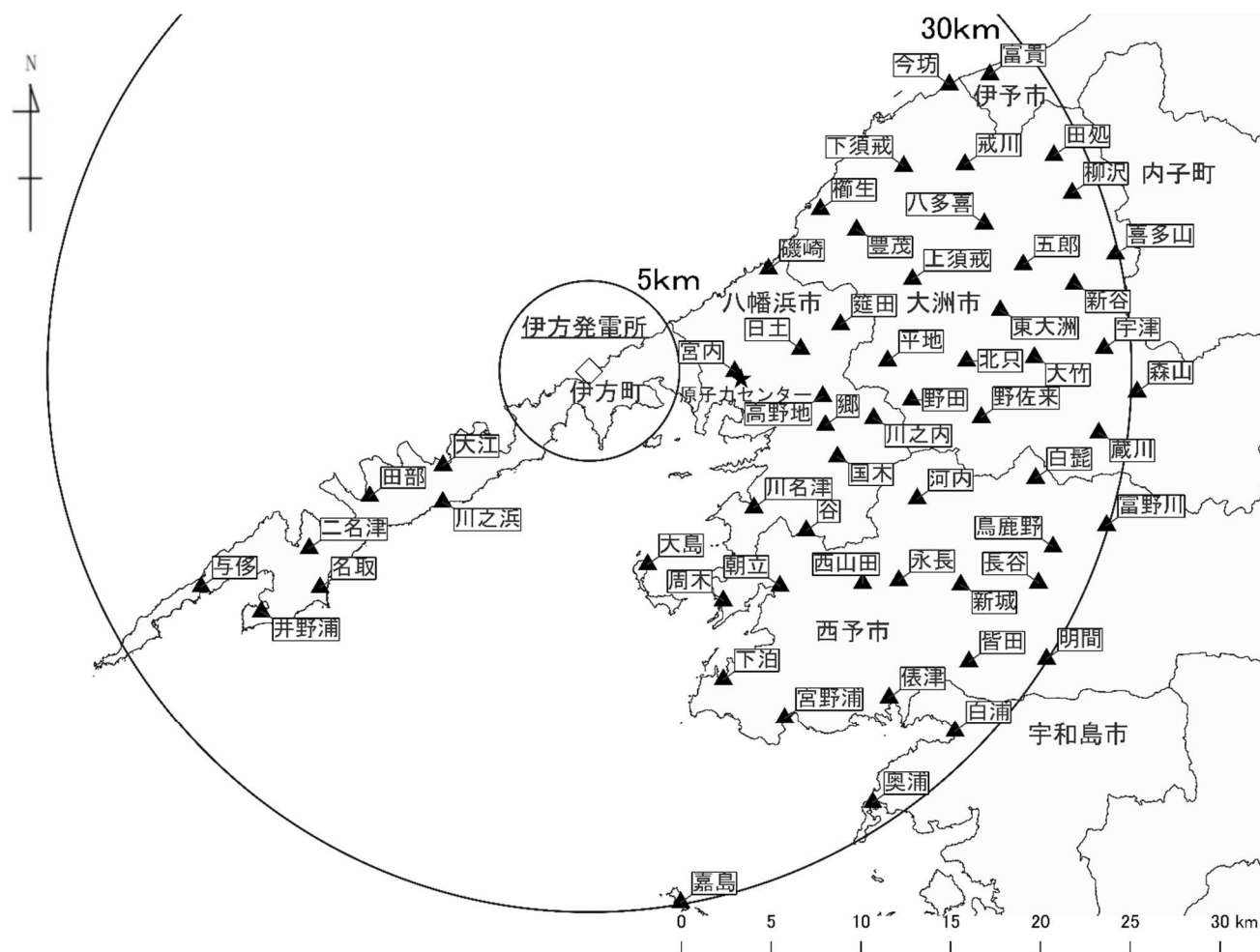


図9 通信機能付き電子線量計 調査地点図



## 7 調査結果の評価

令和7年度第1・四半期の環境放射線等調査結果の概要は、次のとおりであり、昨年度までの調査結果と比較して同じ程度であった。

### (1) 空間放射線

ア モニタリングステーション及びモニタリングポスト等における線量率<sup>(注1)</sup>

(ア) 発電所周辺（5km圏内）

(a) 1時間平均値

愛媛県モニタリングステーション1局、モニタリングポスト7局、四国電力(株)モニタリングステーション1局、モニタリングポスト4局（以下「発電所周辺モニタリングポスト等13局」という。）で実施しているNaI(Tl)シンチレーション検出器による線量率の連続測定結果は、1時間平均値が最低11nGy/h、最高58nGy/hの範囲内であり、3か月平均値は、13～35nGy/hであった<sup>(注2)</sup>（p. 33、56）。

測定結果については、「周辺住民等の被ばく線量の推定及び評価」（調査目的①）を行うため、地点毎に降雨時及び降雨時以外に分けた上で、それぞれの平常の変動幅の上限である「平均値＋（3×標準偏差）」<sup>(注3)</sup>を超過した場合に、その原因調査を行い伊方発電所の影響の有無を判断することとしている。

降雨時には、「平均値＋（3×標準偏差）」を超過した値が3回観測されたが、いずれも、

- 降雨に伴い、線量率が上昇している。
- 伊方発電所を中心に設置された異なる方位の測定局で同時に線量率の増加を観測している。
- γ線スペクトルに自然放射性核種（ラドンの壊変生成物）による上昇は見られたものの、人工放射性核種による特異なピークは見られない（表1）（図10－1）。

また、降雨時以外においては、「平均値＋（3×標準偏差）」を超過した値が1回観測されたが、γ線スペクトルに自然放射性核種による上昇は見られたものの、人工放射性核種による特異なピークは見られなかった（表2）（図10－2）。

これらのことから、「平均値＋（3×標準偏差）」を超過した値については、自然放射線の変動によるものであり、今期の測定結果からは、伊方発電所の影響による有意な線量率の変化は認められなかった。

なお、愛媛県モニタリングステーション1局、モニタリングポスト7局で実施している電離箱検出器による線量率の連続測定結果は、1時間平均値が最低51nGy/h、最高89nGy/hの範囲内であった<sup>(注4)</sup>（p. 37）。

（注1） 線量率は、空気吸収線量率として表示している。

（注2） 宇宙線寄与分はほとんど含まれていない。

（注3） 指針補足参考資料（平常時）に基づき、過去2年間の測定値の「平均値＋（3×標準偏差）」を平常の変動幅の上限として、降雨時及び降雨時以外についてそれぞれ設定している。

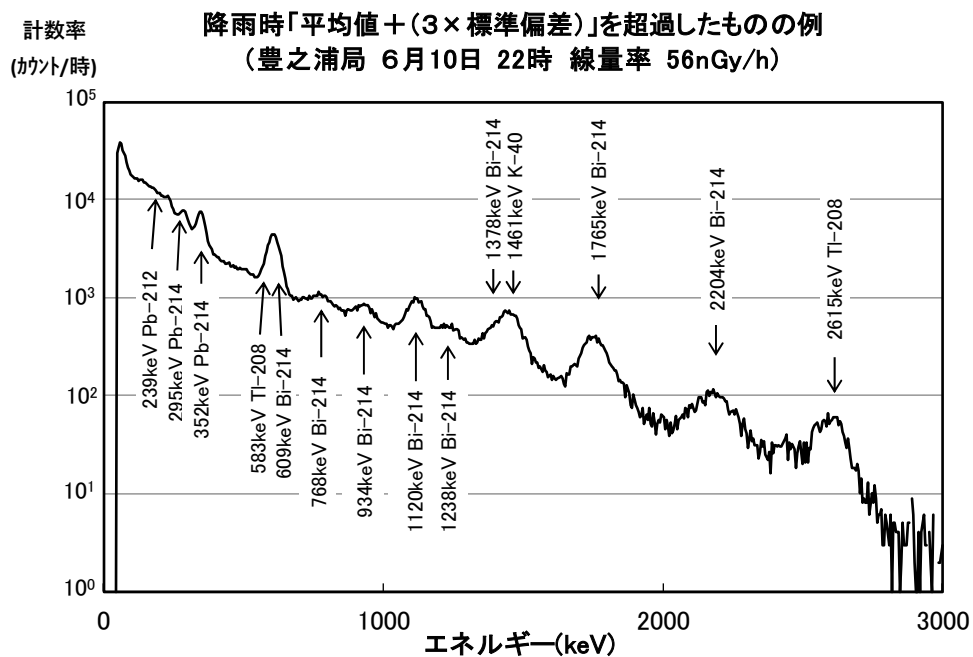
（注4） 宇宙線寄与分が約30nGy/h含まれている。

表1 線量率測定結果（降雨時「平均値＋（3×標準偏差）」を超過したもの）

測定機関名			愛媛県									四国電力(株)					
測定局名			モニタリングステーション		モニタリング ポスト伊方越	モニタリング ポスト湊浦	モニタリング ポスト川永田	モニタリング ポスト九町	モニタリング ポスト大成	モニタリング ポスト豊之浦	モニタリング ポスト加周	モニタリング ステーション	モニタリング ポストNo. 1	モニタリング ポストNo. 2	モニタリング ポストNo. 3	モニタリング ポストNo. 4	伊 方 発電所
過去の測定値から求めた 「平均値＋(3×標準偏差)」(nGy/h)			44		53	45	50	55	40	51	58	40	43	42	39	44	—
過去の測定値から求めた平均値(nGy/h)			24		27	29	31	39	21	31	33	22	23	21	19	22	—
—	—	測定月日時	測定値 (nGy/h)	時間雨量(mm) 風 向 風速(m/s)	測定値 (nGy/h)	測定値 (nGy/h)	測定値 (nGy/h)	測定値 (nGy/h)	測定値 (nGy/h)	測定値 (nGy/h)	測定値 (nGy/h)	測定値 (nGy/h)	測定値 (nGy/h)	測定値 (nGy/h)	測定値 (nGy/h)	測定値 (nGy/h)	時間雨量(mm) 風 向 風速(m/s)
第1・四半期 において、上記「平均値＋ (3×標準偏差)」を超過 したもの	1	6月9日18時	45	4.0 NNW 2.1	(48)	(42)	(44)	(54)	41	(49)	(54)	(38)	44	(39)	(33)	(41)	4.0 NE 3.6
	2	6月9日19時	45	2.0 NNW 1.5	(49)	(42)	(43)	(53)	(40)	(48)	(53)	(38)	45	(42)	(35)	(43)	2.5 ENE 0.9
	3	6月10日22時	45	10.0 SSE 1.8	55	49	(49)	57	(36)	56	(56)	42	(42)	43	(34)	46	10.5 S 2.5

（参考）

- 「平均値」及び「平均値＋（3×標準偏差）」は、令和5年度及び令和6年度の測定値をもとに算出した。
- （ ）内の測定値は「平均値＋（3×標準偏差）」を超過していない値であるが、他の測定局との比較のため参考までに掲げた。
- 測定値には宇宙線寄与分はほとんど含まれていない。
- 発電所周辺モニタリングポスト等13局における連続測定のうち降雨の影響があったと判断した時間（以下「降雨抽出時間」という。）は、今期は延べ371時間であり、降雨による線量の増加は2.7μGyであった。  
（令和6年度第1・四半期の降雨抽出時間は延べ406時間であり、降雨による線量の増加は3.2μGyであった。）
- 降雨時については、降雨による増加分の値の頻度分布は指数分布を示す。  
（参考文献 放射線測定法シリーズ「連続モニタによる環境γ線測定法」（平成29年12月改訂）原子力規制庁監視情報課）



(参考)

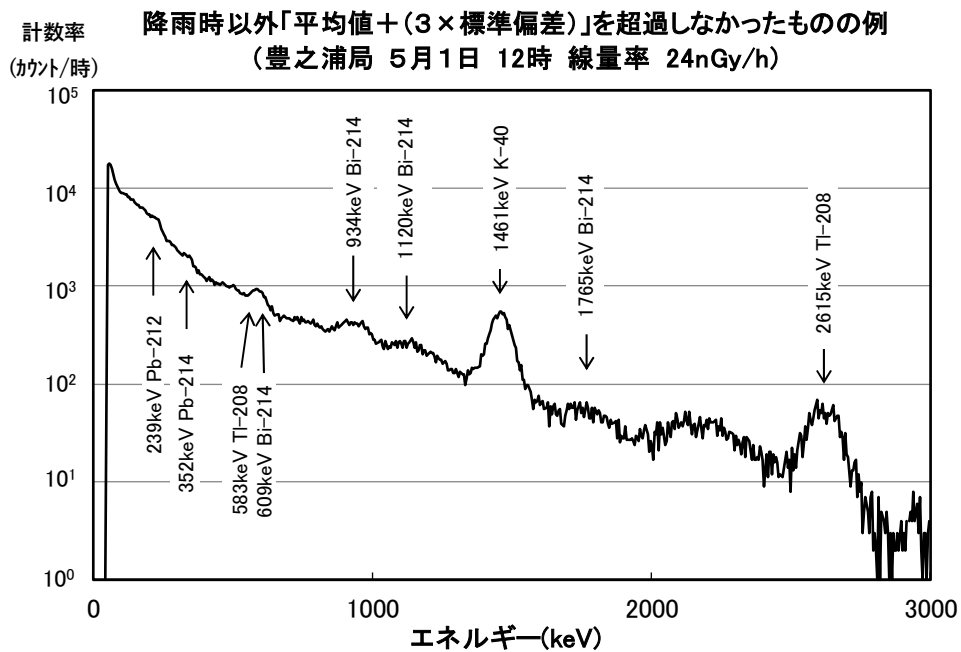


図 10-1 愛媛県測定局 (NaI(Tl)シンチレーション検出器) における  
空間 $\gamma$ 線スペクトル図 (降雨時の例)

(参考)

自然放射性核種 (天然に存在する核種)

K-40、Pb-214、Bi-214、Pb-212、Tl-208 など

人工放射性核種 (核実験や原子力施設の事故により放出されるおそれのある核種)

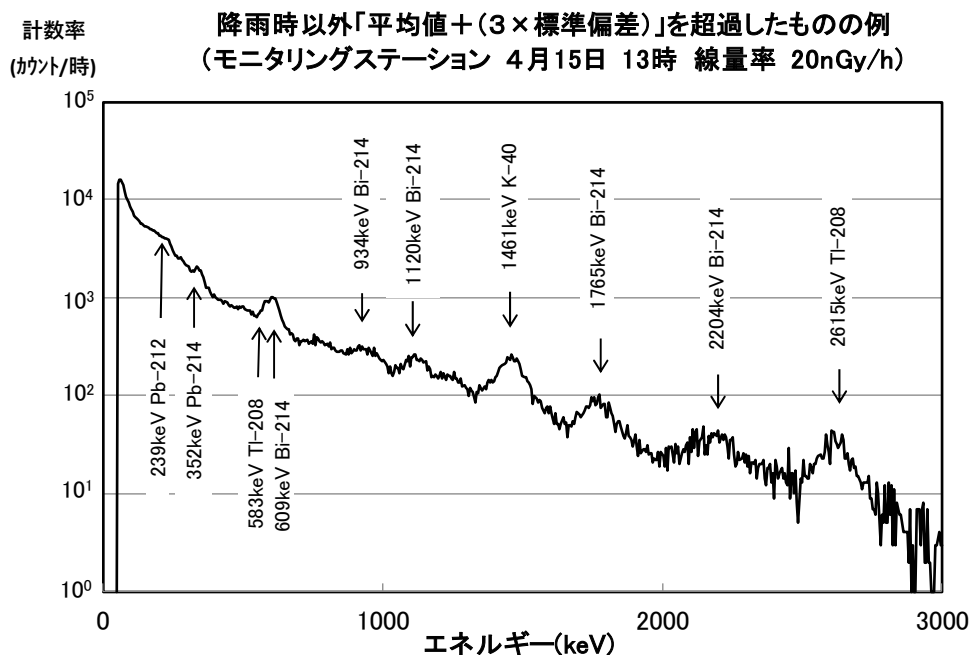
主に I-131 (364keV)、Cs-137 (662keV) など

表2 線量率測定結果（降雨時以外「平均値＋（3×標準偏差）」を超過したもの）

測定機関名			愛媛県								四国電力					
測定局名			モニタリングステーション	モニタリング ポスト伊方越	モニタリング ポスト湊浦	モニタリング ポスト川永田	モニタリング ポスト九町	モニタリング ポスト大成	モニタリング ポスト豊之浦	モニタリング ポスト加周	モニタリング ステーション	モニタリング ポストNo. 1	モニタリング ポストNo. 2	モニタリング ポストNo. 3	モニタリング ポストNo. 4	伊方 発電所
過去の測定値から求めた 「平均値＋（3×標準偏差）」（nGy/h）			19	20	25	26	35	16	26	27	18	19	16	15	17	—
過去の測定値から求めた平均値（nGy/h）			17	18	24	25	34	14	24	25	16	16	14	13	15	—
—	—	測定月日時	測定値 （nGy/h）	風 向 風速（m/s）	測定値 （nGy/h）	測定値 （nGy/h）	測定値 （nGy/h）	測定値 （nGy/h）	測定値 （nGy/h）	測定値 （nGy/h）	測定値 （nGy/h）	測定値 （nGy/h）	測定値 （nGy/h）	測定値 （nGy/h）	測定値 （nGy/h）	風 向 風速（m/s）
第1・四半期 において、上記「平均値＋ （3×標準偏差）」を超過 したもの	1	4月15日13時	20	点検中  点検中	（19）	（25）	（26）	36	（16）	27	（27）	（18）	（19）	17	16	（17）  WNW  12.0

（参考）

- 「平均値」及び「平均値＋（3×標準偏差）」は、令和5年度及び令和6年度の測定値をもとに算出した。
- （ ）内の測定値は「平均値＋（3×標準偏差）」を超過していない値であるが、他の測定局との比較のため参考までに掲げた。
- 測定値には宇宙線寄与分はほとんど含まれていない。
- 降雨時以外については、測定値の頻度分布は、通常、正規分布（分布の幅が広がる傾向がある。）となる。



(参考)

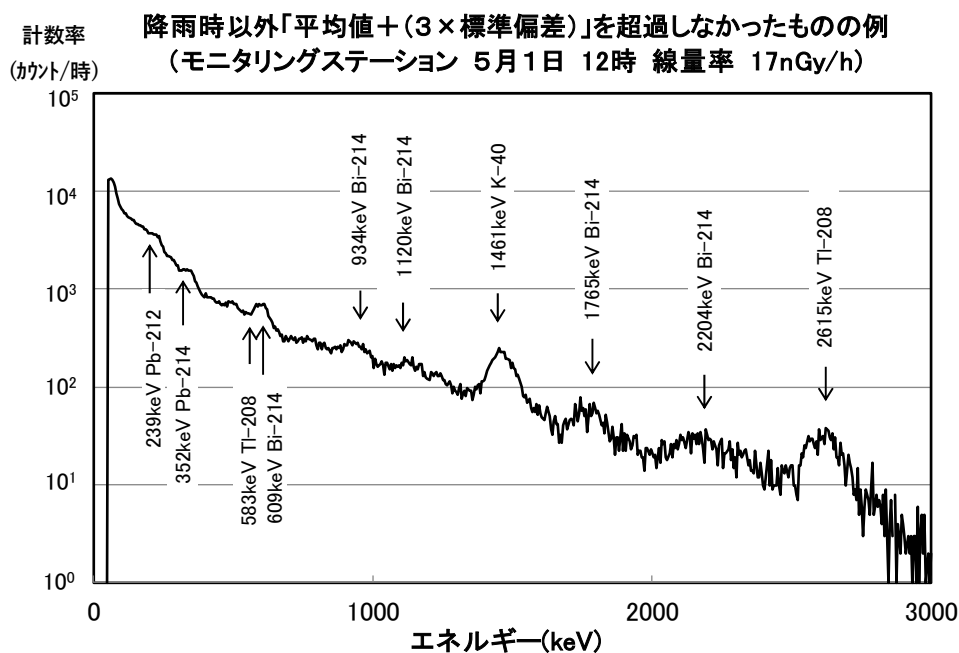


図 10-2 愛媛県測定局 (NaI(Tl)シンチレーション検出器) における  
空間 $\gamma$ 線スペクトル図 (降雨時以外の例)

(参考)

自然放射性核種 (天然に存在する核種)

K-40、Pb-214、Bi-214、Pb-212、Tl-208 など

人工放射性核種 (核実験や原子力施設の事故により放出されるおそれのある核種)

主に I-131 (364keV)、Cs-137 (662keV) など

(b) 10 分間平均値

発電所周辺モニタリングポスト等 13 局で実施している NaI (Tl) シンチレーション検出器及び電離箱検出器による線量率の連続測定結果は最大 93nGy/h であった (p. 36、39、59)。

「原子力施設からの予期しない放射性物質又は放射線の放出の早期検出及び周辺環境への影響評価」(調査目的③)を行うため、測定値(10 分間平均値)が、原則、過去 5 年間の測定値(10 分間平均値)から求めた各年度の最大値の平均値(以下「自動通報設定値」という。)を超過した場合、直ちに原因調査を行っている。

今期は、自動通報設定値を超える値は観測されなかった。

(イ) 広域(おおむね 5 ～30km 圏内)

「緊急事態が発生した場合への平常時からの備え」(調査目的④)としてバックグラウンドレベルを把握するために、愛媛県モニタリングポスト 12 局、四国電力(株)モニタリングポスト 10 局で実施している NaI (Tl) シンチレーション検出器による線量率の連続測定結果は最低 14nGy/h、最高 95nGy/h の範囲内であり<sup>(注1)</sup>、過去の測定値の範囲と比較して同程度であった(表 3)。

また、愛媛県モニタリングポスト 12 局で実施している電離箱検出器による線量率の連続測定結果は最低 70nGy/h、最高 129nGy/h の範囲内であった<sup>(注2)</sup>(p. 38)。

さらに、通信機能付き電子線量計 58 局で実施しているシリコン半導体式電子線量計による線量率の連続測定結果は最低 17nGy/h、最高 112nGy/h の範囲内であった<sup>(注3)</sup>(表 4)。

(注 1) 宇宙線寄与分はほとんど含まれていない。

(注 2) 宇宙線寄与分が約 30nGy/h 含まれている。

(注 3) 通信機能付き電子線量計は、緊急時の避難等防護措置の判断に用いることを目的に設置しており、伊方地域の平常時では測定範囲(200nGy/h～10mGy/h)未満となるが、参考までに掲げた。

表3 線量率測定結果（広域）

(単位：nGy/h)

調査機関	地点番号	測定場所		測定地点名	測定値	
		市町	地名		令和7年度 第1・四半期	令和2～ 令和6年度
愛媛県	(注1) Ik-49	伊方町	正野	八幡浜警察署 串警察官連絡所跡 (県モニタリングポスト三崎)	24 ～ 54	24 ～ 82 (29 ～ 73)
	Ya-14	八幡浜市	若山	八幡浜市民スポーツパーク (県モニタリングポスト双岩)	15 ～ 36	14 ～ 82
	Ya-16		真網代	八幡浜市立真穴小学校 (県モニタリングポスト真穴)	33 ～ 49	33 ～ 77
	Oo-03	大洲市	長浜	肱川あらし展望公園 (県モニタリングポスト長浜)	35 ～ 65	33 ～ 114
	Oo-07		柴	大洲市養護老人ホーム さくら苑 (県モニタリングポスト柴)	25 ～ 53	24 ～ 91
	Oo-17		平野町 野田	八幡浜・大洲地区 総合運動公園 (県モニタリングポスト平野)	36 ～ 59	30 ～ 99
	Se-09	西予市	三瓶町 有太刀	福島展望公園あらパーク (県モニタリングポスト三瓶)	28 ～ 55	28 ～ 91
	Se-11		野村町 野村	野村シルク博物館 (県モニタリングポスト野村)	56 ～ 85	45 ～ 128
	Se-16		明浜町 高山	あけはま シーサイド・サンパーク (県モニタリングポスト明浜)	35 ～ 62	33 ～ 90
	Iy-02	伊予市	双海町 串	伊予市下灘 ふれあいグラウンド (県モニタリングポスト下灘)	56 ～ 95	54 ～ 135
	Uc-02	内子町	平岡	内子町役場 (県モニタリングポスト内子)	33 ～ 54	33 ～ 86
	(注2) Uw-02	宇和島市	吉田町 沖村	東蓮寺ダム桜公園 (県モニタリングポスト吉田)	48 ～ 72	49 ～ 84 (46 ～ 104)
四国電力㈱	—	伊方町	中之浜	四電周辺モニタリングポスト 中之浜	14 ～ 52	14 ～ 81
	—		三机	四電周辺モニタリングポスト 三机	17 ～ 45	17 ～ 77
	—		塩成	四電周辺モニタリングポスト 塩成	14 ～ 44	14 ～ 77
	—		大久	四電周辺モニタリングポスト 大久	14 ～ 43	12 ～ 81
	—		三崎	四電周辺モニタリングポスト 三崎	16 ～ 43	16 ～ 75
	—	八幡浜市	喜木津	四電周辺モニタリングポスト 喜木津	17 ～ 41	17 ～ 72
	—		宮内	四電周辺モニタリングポスト 宮内	14 ～ 40	12 ～ 67
	—		北浜	四電周辺モニタリングポスト 北浜	18 ～ 42	16 ～ 99
	—	大洲市	大洲	四電周辺モニタリングポスト 大洲	19 ～ 39	18 ～ 71
	—	西予市	宇和	四電周辺モニタリングポスト 宇和	24 ～ 45	23 ～ 83

(注1) 地点番号 Ik-49 は、隣接する串警察官連絡所の解体に伴い、令和3年度第3・四半期から周辺環境が変化したため、上段に解体工事後の測定値を、下段に（ ）で解体工事前の測定値を示した。

(注2) 地点番号 Uw-02 は、検出器の分解能の低下に伴い、令和6年度第3・四半期に検出器を交換したため、上段に交換後の測定値を、下段に（ ）で交換前の測定値を示した。

表4 通信機能付き電子線量計による線量率測定結果

(単位：nGy/h)

測定場所		測定地点名	測定値 <sup>(注1)</sup>	
市	町		令和7年度 第1・四半期	令和2～ 令和6年度
伊方町	大江	瀬戸グループリビングの苑	25 ～ 70	23 ～ 106
	田部	田部集会所	29 ～ 73	25 ～ 89
	川之浜	川之浜公園	41 ～ 86	33 ～ 111
	二名津	二名津小学校跡	35 ～ 80	32 ～ 95
	与侈	みさき風の丘パーク	28 ～ 68	22 ～ 100
	名取	名取小学校跡	30 ～ 80	29 ～ 105
	井野浦	井野浦集会所	42 ～ 84	37 ～ 101
八幡浜市	磯崎	磯津保育所跡	27 ～ 63	25 ～ 100
	筵田	筵田集会所	38 ～ 77	35 ～ 152
	日土	日土保育所	33 ～ 76	27 ～ 127
	宮内	宮内小学校	33 ～ 67	28 ～ 116
	高野地	長谷小学校跡	29 ～ 68	25 ～ 99
	川之内	川之内小学校跡	38 ～ 85	35 ～ 108
	郷	千丈小学校	42 ～ 83	38 ～ 122
	国木	牛名集会所付近	29 ～ 73	25 ～ 124
	川名津	川上小学校	29 ～ 66	26 ～ 105
	谷	谷浄水場	26 ～ 70	24 ～ 97
	大島	大島産業振興センター	22 ～ 72	27 ～ 94



(単位：nGy/h)

測 定 場 所		測 定 地 点 名	測 定 値	
市 町	地 名		令和7年度 第1・四半期	令和2～ 令和6年度
大 洲 市	今 坊	喜 多 漁 港	33 ～ 81	26 ～ 115
	田 処	田 処 ふ れ あ い 広 場	26 ～ 70	24 ～ 115
	戒 川	戒 川 ふ れ あ い 広 場	44 ～ 99	42 ～ 130
	下 須 戒	郷 3 号 公 園	45 ～ 92	39 ～ 154
	柳 沢	柳 沢 ふ れ あ い 広 場	28 ～ 70	27 ～ 104
	櫛 生	櫛 生 ふ れ あ い 広 場	37 ～ 83	33 ～ 128
	八 多 喜	大 洲 東 中 学 校	34 ～ 72	31 ～ 88
	豊 茂	豊 茂 ふ れ あ い 広 場	46 ～ 106	43 ～ 156
	喜 多 山	旧 新 谷 公 民 用 館 地 喜 多 山 分 館	33 ～ 73	30 ～ 105
	五 郎	五 郎 大 谷 公 園	38 ～ 79	38 ～ 104
	上 須 戒	上 須 戒 ふ れ あ い 広 場	34 ～ 89	33 ～ 109
	新 谷	新 谷 コ ミ ュ ニ テ ィ セ ン タ ー	28 ～ 60	22 ～ 84
	東 大 洲	大 福 洲 市 セ ン タ ー 合 一 福 祉	38 ～ 80	34 ～ 115
	宇 津	宇 津 橋 付 近 <sup>(注2)</sup>	17 ～ 59	16 ～ 91
	大 竹	父 集 会 所	26 ～ 63	21 ～ 94
	平 地	平 野 コ ミ ュ ニ テ ィ セ ン タ ー 平 地 上 分 館	32 ～ 73	26 ～ 86
	北 只	国 立 大 洲 青 少 年 家 交 流 の	37 ～ 80	34 ～ 113
	森 山	県 道 4 4 号 線 ( 残 地 部 )	35 ～ 76	28 ～ 111
	野 田	明 日 香 集 会 所	54 ～ 111	48 ～ 131
	野 佐 来	南 久 米 ふ れ あ い 広 場	46 ～ 94	45 ～ 142
蔵 川	蔵 川 ふ れ あ い 広 場	47 ～ 94	39 ～ 129	

(単位：nGy/h)

測 定 場 所		測 定 地 点 名	測 定 値 <sup>(注1)</sup>	
			令和7年度 第1・四半期	令和2～ 令和6年度
西 予 市	白 髭	白 髭 集 会 所	46 ～ 98	39 ～ 115
	河 内	多田地域づくり活動センター (Se-02)	27 ～ 78	27 ～ 116
	富 野 川	天 満 神 社 付 近	39 ～ 95	39 ～ 107
	鳥 鹿 野	溪 筋 地 域 づ く り 活 動 セ ン タ ー	45 ～ 92	41 ～ 112
	永 長	西 予 市 民 病 院	42 ～ 92	37 ～ 138
	長 谷	長 谷 地 区 農 業 集 落 設 排 水 処 理 施 設	43 ～ 94	36 ～ 117
	西 山 田	石 城 地 域 づ く り 活 動 セ ン タ ー	31 ～ 74	29 ～ 107
	新 城	田 之 筋 小 学 校	46 ～ 93	41 ～ 99
	朝 立	西 予 市 役 所 三 瓶 支 所	39 ～ 85	34 ～ 130
	周 木	三 瓶 周 木 地 区 グ ラ ウ ン ド	29 ～ 82	29 ～ 114
	明 間	明 間 地 域 づ く り 活 動 セ ン タ ー	39 ～ 80	32 ～ 111
	皆 田	下 宇 和 地 域 づ く り 活 動 セ ン タ ー <sup>(注3)</sup>	40 ～ 84	38 ～ 106
	下 泊	三 瓶 下 泊 地 区 グ ラ ウ ン ド	49 ～ 92	40 ～ 126
	俵 津	俵 津 地 域 づ く り 活 動 セ ン タ ー	31 ～ 70	26 ～ 92
	宮 野 浦	明 浜 西 運 動 場	55 ～ 112	54 ～ 127
伊 予 市	富 貴	市 道 富 貴 支 線 ( 残 地 部 )	37 ～ 86	33 ～ 189
宇 和 島 市	白 浦	白 浦 コ ミ ュ ニ テ ィ ー セ ン タ ー	46 ～ 89	43 ～ 111
	奥 浦	船 間 集 会 所	46 ～ 88	44 ～ 102
	嘉 島	嘉 島 小 学 校	42 ～ 94	44 ～ 101

(注1) 測定結果は当該1時間における2分間値の平均値を記載している。

(注2) 宇津橋付近については、点検において検出器の劣化が確認されたことから、令和4年度第4・四半期に検出器を交換したため、交換後の値を掲げた。

(注3) 下宇和地域づくり活動センターについては、敷地内の工事に伴い、令和4年度第4・四半期に機器を同敷地内において移設したため、移設後の値を掲げた。

(参考) 通信機能付き電子線量計は、緊急時の避難等防護措置の判断に用いることを目的に設置しており、伊方地域の平常時では測定範囲(200nGy/h～10mGy/h)未満となるが参考までに掲げた。

## イ 積算線量

愛媛県が「周辺住民等の被ばく線量の推定及び評価」（調査目的①）を行うために実施している積算線量の測定結果は、8地点において、32～76μGy/3か月<sup>(注1)</sup>であった。また、四国電力株が参考として測定している25地点において、82～115μGy/3か月<sup>(注2)</sup>であった。

なお、愛媛県実施地点、四国電力株実施地点の測定結果は、過去における測定値<sup>(注3)</sup>と同程度であり、「平均値＋（3×標準偏差）」を超過したものはなく、自然変動の範囲内であった（表5、6）。

（注1） 愛媛県実施の積算線量は、今年度から、モニタリングステーション及びモニタリングポストの線量率から算出している。なお、宇宙線寄与分はほとんど含まれていない。

（注2） 四国電力株実施の積算線量は、蛍光ガラス線量計を用い、空気吸収線量として表示している。

（注3） 積算線量の評価は、原則、過去10年間の測定値と比較するが、愛媛県実施分については、平成31年2月に実施した検出器の更新等を踏まえ、令和元年度以降の測定値としている。

表5 積算線量測定結果（愛媛県）

（単位：μGy/3か月）

地点 番号	測定場所		測定地点名	NaI(Tl)シンチレーション検出器		
				令和7年度 第1・四半期	令和元年度～令和6年度	
	町	地名		測定値	測定値	平均値＋ (3×標準偏差) <sup>(注)</sup>
Ik-19	伊方町	九 町	九 町 越 公 園 (県モニタリングステーション)	40	38 ～ 41	42
Ik-01-1		伊方越	茅 ト ン ネ ル 北 口 付 近 (県モニタリングポスト伊方越)	43	41 ～ 45	46
Ik-09-1		湊 浦	伊 方 町 役 場 (県モニタリングポスト湊浦)	54	52 ～ 55	56
Ik-17		川永田	川 永 田 老 人 憩 い の 家 (県モニタリングポスト川永田)	55	54 ～ 57	58
Ik-24		九 町	町 見 公 民 館 (県モニタリングポスト九町)	76	74 ～ 77	78
Ik-29		二 見	大 成 消 防 詰 所 横 (県モニタリングポスト大成)	32	30 ～ 34	35
Ik-32		豊之浦	豊 之 浦 小 学 校 跡 (県モニタリングポスト豊之浦)	55	54 ～ 56	57
Ik-35		二 見	佐 田 岬 亀 ケ 池 温 泉 (県モニタリングポスト加周)	57	55 ～ 60	61

（注） 標準偏差は測定値のばらつきを示すもので、測定値が「平均値＋（3×標準偏差）」を超過しなければ、ほぼ自然変動と一般的には考えられている。

表6 (参考) 積算線量測定結果 (四国電力株)

(単位:  $\mu\text{Gy}/3\text{か月}$ )

地点番号	測定場所		測定地点名	蛍光ガラス線量計		
				令和7年度 第1・四半期	平成27年度～令和6年度*	
	市町	地名		測定値	測定値	平均値+ (3×標準偏差) <sup>(注3)</sup>
1 <sup>(注1)</sup>	伊方町	発電所 周辺	四電モニタリングポイント No. 1	89	84 ～ 93	94
2		発電所 周辺	四電モニタリングポイント No. 2	87	82 ～ 90	90
3		発電所 周辺	四電モニタリングポイント No. 3	89	86 ～ 95	96
4		発電所 周辺	四電モニタリングポイント No. 4	96	93 ～ 103	103
5 <sup>(注1)</sup>		発電所 周辺	四電モニタリングポイント No. 5	87	82 ～ 91	93
6		発電所 周辺	四電モニタリングポイント No. 6	87	84 ～ 94	95
7 <sup>(注1)</sup>		発電所 周辺	四電モニタリングポイント No. 7	86	83 ～ 90	91
8		九九町 越	四電モニタリングポイント No. 8	82	79 ～ 90	91
9 <sup>(注1)</sup>		三机佐市	四電モニタリングポイント No. 9	100	95 ～ 104	106
10		足成	四電モニタリングポイント No. 10	102	97 ～ 106	107
11 <sup>(注1)</sup>		二見 古敷	四電モニタリングポイント No. 11	103	96 ～ 106	108
12		二見鳥津	四電モニタリングポイント No. 12	110	104 ～ 115	117
13		二見本浦	四電モニタリングポイント No. 13	87	85 ～ 93	94
14		九町西	四電モニタリングポイント No. 14	97	94 ～ 102	104
15		九町畑	四電モニタリングポイント No. 15	97	95 ～ 104	106
16		豊之浦	四電モニタリングポイント No. 16	104	101 ～ 111	113
17		亀浦	四電モニタリングポイント No. 17	104	101 ～ 109	110
18		伊方越	四電モニタリングポイント No. 18	104	101 ～ 108	110
19		川永田	四電モニタリングポイント No. 19	103	100 ～ 110	111
20		湊浦	四電モニタリングポイント No. 20	103	102 ～ 108	109
22		大久	四電モニタリングポイント No. 22	105	103 ～ 113	116
23		九九町 越	四電モニタリングポイント No. 23	93	91 ～ 99	101
24		仁田之浜	四電モニタリングポイント No. 24	91	90 ～ 102	104
21	八幡浜市	古町	四電モニタリングポイント No. 21	113	114 ～ 125	129
26 <sup>(注2)</sup>		江戸岡	四電モニタリングポイント No. 26	115	(112 ～ 117)	(121)

(注1) 地点番号1は防火帯設置工事に伴い平成27年度第3・四半期から地点を変更したため、地点番号5は周辺道路工事に伴い平成29年度第4・四半期から周辺環境が変化したため、地点番号7は柿ヶ谷土捨場工事に伴い平成28年度第2・四半期から地点を変更したため、地点番号9は電柱取替工事に伴い平成29年度第1・四半期から地点を変更したため、地点番号11は電柱取替工事に伴い平成28年度第1・四半期から地点を変更したため、\*の値は地点変更後の値を掲げた。

(注2) 地点番号26は令和5年度第1・四半期から新規追加したため、\*の値は参考までに( )で掲げた。

(注3) 標準偏差は測定値のばらつきを示すもので、測定値が「平均値+ (3×標準偏差)」を超過しなければ、ほぼ自然変動と一般的には考えられている。

## (2) 大気試料、環境試料、排水中放射能

### ア 大気浮遊じん中の $\beta$ 放射能（連続測定）

「原子力施設からの予期しない放射性物質又は放射線の放出の早期検出及び周辺環境への影響評価」（調査項目③）を行うため、伊方発電所から5km圏内に設置しているダストモニタ4局における大気浮遊じん中放射性物質濃度の測定値<sup>(注1)</sup>（1時間平均値）が、原則、過去5年間の測定値の最大値の平均値<sup>(注2、3)</sup>（以下「ダストモニタの自動通報設定値」という。）を超過した場合、直ちに原因調査を行うこととしている。

今期は、ダストモニタの自動通報設定値（2.9Bq/m<sup>3</sup>）を超過した値は観測されなかった。

また、ダストモニタで連続採取した試料について、高純度ゲルマニウム半導体検出器による核種分析を行った結果、人工放射性核種は検出されなかった（表7）。

これらのことから、伊方発電所からの放射性物質の放出による有意な測定値の変化は認められなかった。

### イ 核種分析

伊方発電所周辺の大気試料及び環境試料を定期的に採取し、高純度ゲルマニウム半導体検出器等による核種分析を行っている。

今期の調査において、一部の環境試料から人工放射性核種であるセシウム-137等が検出されたが、セシウム-137等は伊方発電所1号機運転開始前の調査から継続して検出されているものであり、その分析結果は過去の測定値と比較して同程度であった。なお、これらはいずれも微量であり、人体への影響上問題となるような濃度は認められていない。

また、「周辺住民等の被ばく線量の推定及び評価」（調査目的①）を行うため、伊方発電所から5km圏内で採取した大気試料、植物（杉葉）及び海産生物<sup>(注4)</sup>の核種分析結果について、平成20年度以降の測定値<sup>(注5)</sup>の最大値を評価基準とし、比較したところ、最大値を超過した試料はなく、伊方発電所の影響は認められなかった（表7～9）。

(注1) ダストモニタでは、(1)  $\beta$ 線と $\gamma$ 線の計数率の総和、(2) 自然放射性核種であるラドン・トリウム壊変生成物の $\alpha$ 線の計数率、(3) バックグラウンドの $\gamma$ 線の計数率の3種類を計測している。本測定値は、(1) から、(2) の結果より求めたラドン・トリウム壊変生成物の $\beta$ 線の計数率(2)' 及び(3) を差し引いた(1) - (2)' - (3) により求めた計数率から、リアルタイムに算出した $\beta$ 放射能濃度である。

(注2) 令和7年度については、令和3～5年度の測定値の最大値の平均値2.9Bq/m<sup>3</sup>を用いる。

(注3) 自然放射性核種の影響を除いている。

(注4) カワハギ、カサゴ、メバル、ムラサキイガイ、アワビ、サザエ、ヒジキ、テングサ、ホンダワラ、クロメ

(注5) 東京電力福島第一原子力発電所事故の影響を受けている測定値は除く。

表7 大気試料、環境試料の核種分析結果（高純度ゲルマニウム半導体検出器による機器分析）（注1）

調査機関	試料名			採取場所	試料数		測定値								単位
					令和7年度 第1・四半期	昭和50～ 令和6年度	コバルトー60		セシウムー134		セシウムー137		ヨウ素ー131		
							令和7年度 第1・四半期	昭和50～令和6年度	令和7年度 第1・四半期	昭和50～令和6年度 <sup>(注2)</sup>	令和7年度 第1・四半期	昭和50～令和6年度	令和7年度 第1・四半期	昭和50～令和6年度 <sup>(注2)</sup>	
愛媛県環境試料	大気試料 <sup>(注3、4)</sup>			伊方	12	627	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず ～ 0.106	検出されず	検出されず ～ 0.14	検出されず	検出されず ～ 1.2	mBq/m <sup>3</sup>
	陸上農畜 試品産	土壌	広域 <sup>(注5)</sup>	大洲	3	47	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず ～ 4.2	検出されず ～ 21.9	検出されず	検出されず	Bq/kg乾土
		陸水	広域 <sup>(注5)</sup>	西予	3	59	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	mBq/L
		製茶 <sup>(注5)</sup>	牛乳(原乳) <sup>(注5)</sup>	西予	1	12	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず ～ 0.15	検出されず	検出されず	Bq/kg乾
				西予	1	12	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	Bq/L
		植物(杉葉)		伊方	2	364	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず ～ 2.7	検出されず	検出されず ～ 5.9	検出されず	検出されず ～ 23	Bq/kg生
		降下物		伊方	3	598	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず ～ 74	検出されず	検出されず ～ 167	検出されず	検出されず ～ 6.3	Bq/m <sup>2</sup> ・月
	海水		伊方	1	190	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	1.6	検出されず ～ 8.1	検出されず	検出されず	mBq/L	
	海底土		伊方	2	364	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず ～ 1.1	検出されず	検出されず ～ 5.2	検出されず	検出されず	Bq/kg乾土	
	海洋試料	魚類	カワハギ	伊方	1	67	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	0.037	検出されず ～ 0.28	検出されず	検出されず	Bq/kg生
			カサゴ	伊方	1	122	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	0.10	検出されず ～ 0.52	検出されず	検出されず	
			メバル	伊方	1	87	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず ～ 0.044	0.075	0.069 ～ 0.52	検出されず	検出されず	
		無脊椎動物	ムラサキイガイ	伊方	1	181	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず ～ 0.14	検出されず	検出されず	
			アワビ	伊方	1	51	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず ～ 0.085	検出されず	検出されず	
		海藻類	ヒジキ	伊方	1	53	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず ～ 0.096	検出されず	検出されず ～ 0.53	
			テングサ	伊方	1	50	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず ～ 0.33	検出されず	検出されず	
			ホンダワラ	伊方	1	187	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず ～ 0.41	検出されず	検出されず ～ 0.95	
	クロメ		伊方	1	66	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず ～ 0.13	検出されず	検出されず ～ 0.65		

調査機関	試料名			採取場所	試料数		測定値								単位	
					令和7年度 第1・四半期	昭和50～ 令和6年度	コバルト-60		セシウム-134		セシウム-137		ヨウ素-131			
							令和7年度 第1・四半期	昭和50～令和6年度	令和7年度 第1・四半期	昭和50～令和6年度 <sup>(注2)</sup>	令和7年度 第1・四半期	昭和50～令和6年度	令和7年度 第1・四半期	昭和50～令和6年度 <sup>(注2)</sup>		
四国電力(株)	大気試料 <sup>(注3、4)</sup>			伊方	3	227	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず ～ 0.199	検出されず	検出されず ～ 2.7	検出されず	検出されず ～ 0.68	mBq/m <sup>3</sup>	
	陸上試料	土壌		伊方	3	291	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず ～ 1.7	5.9 ～ 17.2	5.7 ～ 85	検出されず	検出されず	Bq/kg乾土	
		植物(杉葉) <sup>(注5)</sup>		伊方	1	164	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず ～ 0.63	検出されず	検出されず ～ 6.7	検出されず	検出されず ～ 0.78	Bq/kg生	
	海洋試料	海水		伊方	2	344	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず ～ 1.7	検出されず ～ 9.3	検出されず	検出されず	mBq/L	
		海底土		伊方	3	283	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず ～ 0.63	検出されず ～ 5.2	検出されず	検出されず	Bq/kg乾土	
		海産生物	無脊椎動物	サザエ	伊方	1	197	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず ～ 0.14	検出されず	検出されず	Bq/kg生
			海藻類	ホンダワラ	伊方	2	363	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず ～ 0.41	検出されず	検出されず ～ 3.0	
				クロメ	伊方	1	66	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず ～ 0.093	検出されず	検出されず ～ 1.27	

(注1) 調査計画に基づき、適宜調査地点を見直しているため、過去の試料数及び測定値には同採取場所内の現在調査していない地点の値も含んでいる。

(注2) 四国電力(株)は、昭和62年度にセシウム-134、昭和51年度にヨウ素-131の測定を開始した。

(注3) 令和3年度から、大気試料（大気浮遊じん）の試料採取期間を愛媛県は24時間から1か月間に、四国電力(株)は3か月間から1か月間に変更した。

(注4) 大気試料の測定値は、ヨウ素-131については、塵状と気体状の合計値を示し、ヨウ素-131以外の核種については塵状の値を示した。

(注5) 愛媛県が実施している土壌（広域）は平成30年度から、陸水（広域）は令和元年度から、製茶、牛乳（原乳）は平成25年度から、四国電力(株)が実施している植物（杉葉）は昭和59年度から測定を開始した。

表8 大気試料、環境試料の核種分析結果（放射化学分析等）（注1）

調査機関	試料名		採取場所	トリチウム				ストロンチウム-90				プルトニウム-238				プルトニウム-239+240				単位		
				令和7年度 第1・四半期		昭和51～令和6年度		令和7年度 第1・四半期		昭和51～令和6年度		令和7年度 第1・四半期		昭和55～令和6年度		令和7年度 第1・四半期		昭和55～令和6年度				
				試料数	測定値	試料数	測定値	試料数	測定値	試料数	測定値	試料数	測定値	試料数	測定値	試料数	測定値	試料数	測定値			
愛媛県	陸上試料	大気試料		伊方	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	4	検出されず*	384	検出されず*	Bq/m <sup>3</sup>		
		土壌	広域 <sup>(注3)</sup>	大洲	—	—	—	—	3	検出されず＊～1.1	47	検出されず＊～3.3	3	検出されず*	47	検出されず＊～0.029	3	0.010～0.22	47	検出されず＊～0.97	Bq/kg乾土	
				陸水	広域 <sup>(注3)</sup>	西予	3	検出されず*	59	検出されず＊～0.61	3	検出されず＊～0.83	59	検出されず＊～1.7	—	—	—	—	—	—	mBq/L <sup>(注2)</sup>	
		降下物		伊方	—	—	—	—	1	検出されず*	93	検出されず＊～4.1	—	—	—	—	—	—	—	—	Bq/m <sup>2</sup> ・月	
		降水		伊方	3	0.50～0.59	583	検出されず＊～8.51	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	Bq/L	
	海洋試料	海水		伊方	1	0.37	186	検出されず＊～4.3	1	検出されず*	181	検出されず＊～5.9	1	検出されず*	162	検出されず＊	1	検出されず*	162	検出されず＊～0.030	mBq/L <sup>(注2)</sup>	
		海底土		伊方	—	—	—	—	2	検出されず*	336	検出されず＊～0.78	2	検出されず*	314	検出されず＊～0.067	2	0.45～0.52	314	検出されず＊～1.1	Bq/kg乾土	
		海産生物	魚類	メバル	伊方	—	—	—	—	1	検出されず*	41	検出されず*	1	検出されず*	59	検出されず*	1	検出されず*	59	検出されず*	Bq/kg生
				ヒジキ	伊方	—	—	—	—	1	検出されず*	51	検出されず＊～0.18	—	—	—	—	—	—	—	—	
				ホンダワラ	伊方	—	—	—	—	—	—	—	—	1	検出されず*	45	検出されず＊～0.0019	1	0.0047	45	検出されず＊～0.052	
四国電力株	海洋試料	海 <sup>(注3)</sup> 水		伊方	2	検出されず*	48	検出されず＊～1.4	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	Bq/L			

（注1） 測定していないものは、「—」と表示した。

（注2） トリチウム（H-3）の単位はBq/Lである。

（注3） 愛媛県が実施している土壌（広域）は平成30年度から、陸水（広域）は令和元年度から、四国電力㈱が実施している海水は令和元年度から測定を開始した。



表9 施設寄与の有無の弁別に用いる核種分析結果

試料名					採取場所	試料数		測定値								単位				
						令和7年度 第1・四半期	平成20～ 令和6年度	コバルト-60		セシウム-134		セシウム-137		ヨウ素-131			ストロンチウム-90			
								令和7年度 第1・四半期	平成20～ 令和6年度	令和7年度 第1・四半期	平成20～ 令和6年度	令和7年度 第1・四半期	平成20～ 令和6年度	令和7年度 第1・四半期	平成20～ 令和6年度		令和7年度 第1・四半期	平成20～ 令和6年度	令和7年度 第1・四半期	平成20～ 令和6年度
大気試料					伊方	15	499	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	mBq/m <sup>3</sup>		
環境試料	海洋生物	魚類	カワハギ	伊方	1	12	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	0.037	検出されず	～ 0.089	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	Bq/kg生	
			カサゴ	伊方	1	45	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	0.10	検出されず	～ 0.16	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず		
			メバル	伊方	1	22	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	0.075	0.069	～ 0.13	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず		
		動無脊椎	アワビ	伊方	1	17	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず		
			サザエ	伊方	1	85	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	～ 0.038	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず		
		海藻類	ヒジキ	伊方	1	17	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず		～ 0.063
			テングサ	伊方	1	17	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず		検出されず
			クロメ	伊方	2	68	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	～ 0.10	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず		検出されず

(指標生物)

試 料 名					採取場所	試 料 数		測 定 値								単 位		
						令和7年度 第1・四半期	平成20～ 令和6年度	コバルト－60		セシウム－134		セシウム－137		ヨウ素－131			ストロンチウム－90	
								令和7年度 第1・四半期	平成20～ 令和6年度 <sup>(注1)</sup>	令和7年度 第1・四半期	平成20～ 令和6年度 <sup>(注1)</sup>	令和7年度 第1・四半期	平成20～ 令和6年度 <sup>(注1)</sup>	令和7年度 第1・四半期	平成20～ 令和6年度 <sup>(注1)</sup>		令和7年度 第1・四半期 <sup>(注2)</sup>	平成20～ 令和6年度 <sup>(注1、2)</sup>
環 境  試 料	陸上試料		植物（杉葉）		伊方	3	204	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	～ 0.065	検出されず	検出されず	－	－
	海洋試料	海産生物	動無脊椎	ムラサキイガイ	伊方	1	68	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	－	－
		海藻類	ホンダワラ	伊方	3	204	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	～ 0.10	検出されず	検出されず	検出されず	－	－

- (注1) 東京電力福島第一原子力発電所事故の影響を受けている測定値を除外している。
- (注2) 測定していないものは、「―」と表示した。
- (注3) 令和3年度から、大気試料(大気浮遊じん)の試料採取期間を、愛媛県は24時間から1か月間に、四国電力㈱は3か月間から1か月間に変更した。  
なお、施設寄与の有無の判断については、平成20年度～令和6年度の測定結果が、対象核種すべて「検出されず」であることから、同測定結果を判断基準とした。
- (注4) 大気試料の測定値は、ヨウ素-131については塵状と気体状の合計値を示し、ヨウ素-131以外の核種については塵状の値を示した。

ウ 排水の全計数率

1・2号機放水口及び3号機放水ピットで実施している NaI(Tl)シンチレーション検出器による排水の全計数率の今期における連続測定結果は、最大値が4.0cpsであった（p.62）。

「原子力施設からの予期しない放射性物質又は放射線の放出の早期検出及び周辺環境への影響評価」（調査項目③）を行うため、自動通報設定値を超えた場合は直ちに原因調査を行っている。

今期は自動通報設定値（1・2号機放水口モニタは11.8cps、3号機放水口モニタは5.6cps）を超える値は観測されなかった。

(参 考)

測定値の表示方法について

測 定 項 目			単 位	測定値の表示
空間放射線	線量率 <sup>(注1)</sup>	連続	nGy(グレイ)／h	原則として小数第1位四捨五入
		定期		
	積算線量 <sup>(注1)</sup>		μGy／3か月 μGy／年	・四半期報は、小数第1位四捨五入 ・年報は、四半期の測定値の合計
大気試料、環境試料、排水の放射能	β放射能 (連続測定)	大気浮遊じん	Bq(ベクレル)／m <sup>3</sup>	原則として小数第2位四捨五入
	γ線放出核種	大気浮遊じん	mBq／m <sup>3</sup>	放射能濃度をN、計数誤差をΔNとしたとき、測定値N±ΔNにおいて ・N、ΔNともに 原則として有効数字2桁 <sup>(注2)</sup> (3桁目四捨五入) ・N<3ΔNのとき 「検出されず」
		大気(放射性ヨウ素)		
		陸水	mBq／L(リットル)	
		土壌	Bq／kg乾土	
		農産食品	Bq／kg生	
		農産食品(製茶)	Bq／kg乾	
		畜産食品(牛乳)	Bq／L	
		淡水生物	Bq／kg生	
		植物	Bq／kg生	
		降下物	Bq／m <sup>2</sup> ・月	
		海水	mBq／L	
		海底土	Bq／kg乾土	
		海産生物	Bq／kg生	
	その他核種分析	トリチウム	陸水、降水、海水	
		Sr-90、α線放出核種	大気浮遊じん	Bq／m <sup>3</sup>
			陸水、海水	mBq／L
			土壌、海底土	Bq／kg乾土
			降下物	Bq／m <sup>2</sup> ・月
			農産食品、海産生物	Bq／kg生
	排水		cps(カウント／秒)	原則として小数第2位四捨五入

(注1) 線量率及び積算線量は、空気吸収線量(率)として表示している。

(注2) ΔNの最上位桁が、Nの3桁目以降となるときは、Nを3桁とする。

# 資料 1 環境放射線等調査 (愛媛県調査分)



# 1 測定方法及び測定器

調 査 項 目		測 定 方 法	測 定 器
空間放射線	モニタリングステーション	連続測定  放射能測定法シリーズ「連続モニタによる環境γ線測定法」(平成29年12月改訂)に準ずる。	3" φ × 3" NaI(Tl)シンチレーション検出器 (温度補償・エネルギー補償回路付) 日立製作所 ADP-1132UR1 日立製作所 ADP-1132R1 加圧型電離箱 日立製作所 RIC-348(アルゴン+窒素 14L・4気圧) 多重波高分析器 日立製作所 ASM-R455-0191
	モニタリングポスト		(ADP-1132UR1 設置場所) モニタリングステーション、 モニタリングポスト (湊浦、伊方越、川永田、九町、大成、豊之浦、加周) (ADP-1132R1 設置場所) モニタリングポスト (三崎、双岩、真穴、長浜、柴、平野、三瓶、野村、明浜、 下灘、内子、吉田)
	通信機能付き電子線量計	連続測定  放射能測定法シリーズ「連続モニタによる環境γ線測定法」(平成29年12月改訂)に準ずる。	シリコン半導体式電子線量計 日立製作所 PDM-501R1
	シンチレーションスペクトロメータ	定期測定  放射能測定法シリーズ「空間γ線スペクトル測定法」(平成2年2月)に準ずる。	球形3" φ NaI(Tl)シンチレーション検出器 応用光研工業 12E6Q/MSP-20 スペクトロスコープシステム及び多重波高分析器 キャンベラ IN2K InSpector2000
	シンチレーションサーバイメータ	定期測定  (文部科学省方式等)	1" φ × 1" NaI(Tl)シンチレーション検出器 (エネルギー補償回路付) 日立製作所 TCS-1172
	走行サーバイシステム (定点測定)	定期測定  放射能測定法シリーズ「空間γ線スペクトル測定法」(平成2年2月)、「連続モニタによる環境γ線測定法」(平成29年12月改訂)に準ずる。	CsI(Tl)シンチレーション検出器 (温度補償回路付) 松浦電弘社 KURAMA-II
	可搬型 ゲルマニウム 半導体検出器	定期測定  放射能測定法シリーズ「空間γ線スペクトル測定法」(平成2年2月)、「連続モニタによる環境γ線測定法」(平成29年12月改訂)及び「ゲルマニウム半導体検出器を用いた in-situ 測定法」(平成29年3月改訂)に準ずる。	高純度ゲルマニウム半導体検出器・多重波高分析器 オルテック Trans-SPEC-DX-100T
	可搬型 モニタリング ポスト	連続測定  放射能測定法シリーズ「連続モニタによる環境γ線測定法」(平成29年12月改訂)に準ずる。	2" φ × 2" NaI(Tl)シンチレーション検出器 (エネルギー補償回路付) 日立製作所 ND-MAR-561B シリコン半導体検出器 日立製作所 SBD-702C

調 査 項 目			測 定 方 法	測 定 器
空間放射線	線量率	走行サーベイシステム (走行測定)	定期測定 放射能測定法シリーズ 「連続モニタによる環境 γ線測定法」(平成 29 年 12 月改訂)に準ずる。	CsI (Tl) シンチレーション検出器 (温度補償回路付) 松浦電弘社 KURAMA-II
		環境放射能 水準調査用 モニタリング ポスト	連続測定 放射能測定法シリーズ 「連続モニタによる環境 γ線測定法」(平成 29 年 12 月改訂)に準ずる。	2" φ × 2" NaI (Tl) シンチレーション検出器 (温度補償・エネルギー補償回路付) 東芝電力放射線テクノサービス SD22-T 多重波高分析器 東芝電力放射線テクノサービス D6100UM-T
	積算線量		連続測定 放射能測定法シリーズ 「連続モニタによる環境 γ線測定法」(平成 29 年 12 月改訂)に準ずる。	3" φ × 3" NaI (Tl) シンチレーション検出器 (温度補償・エネルギー補償回路付) 日立製作所 ADP-1132UR1
大気試料	ダストモニタ		連続測定 放射能測定法シリーズ 「大気中放射性物質測定 法」(令和 4 年 6 月制定) に準ずる。	シリコン半導体検出器 キャンベラ CAM 450AM
大気試料・環境試料	核種分析		放射能測定法シリーズ 「ゲルマニウム半導体検 出器によるγ線スペクト ロメトリー」(令和 2 年 9 月改訂)、「放射性ヨウ素 分析法」(平成 8 年 3 月改 訂)及び「大気中放射性物 質測定法」(令和 4 年 6 月 制定)に準ずる。	高純度ゲルマニウム半導体検出器 キャンベラ GC4018 オルテック GEM40-76-LB-C-S 多重波高分析器 セイコー E G & G MCA7
			放射能測定法シリーズ 「放射性ストロンチウム 分析法」(令和 7 年 6 月改 訂)に準ずる。	低バックグラウンド放射能自動測定装置 日立製作所 LBC-4502
			放射能測定法シリーズ 「トリチウム分析法」(令 和 5 年 10 月改訂)に準ず る。	低バックグラウンド液体シンチレーションカウンタ アロカ LSC-LB8
			放射能測定法シリーズ 「プルトニウム分析法」 (平成 2 年 11 月改訂)に 準ずる。	シリコン半導体検出器 オルテック ENS-U600 多重波高分析器 オルテック ALPHA-DUO 誘導結合プラズマ質量分析装置 パーキンエルマー NexION 1000

## 2 測定結果

### (1) 空間放射線

#### ア 線量率（連続測定）

(ア) 3"φ×3"NaI (Tl) シンチレーション検出器（温度補償・エネルギー補償回路付）

#### (a) 1時間平均値

#### a 発電所周辺（5km 圏内）

(単位：nGy/h)

地 点 番 号	測 定 場 所		測 定 地 点 名	測 定 値 <small>(注)</small>				
	町	地 名			4 月	5 月	6 月	第 1 ・ 四半期
Ik-19	伊方町	九 町	九 町 越 公 園 (県モニタリングステーション)	最 高	39	37	45	45
				最 低	16	16	16	16
				平 均	18	18	19	18
Ik-01-1		伊方越	茅 ト ン ネ ル 北 口 付 近 (県モニタリングポスト伊方越)	最 高	43	43	55	55
				最 低	18	17	17	17
				平 均	19	20	20	20
Ik-09-1		湊 浦	伊 方 町 役 場 (県モニタリングポスト湊浦)	最 高	39	38	49	49
				最 低	23	23	23	23
				平 均	24	24	25	24
Ik-17		川永田	川 永 田 老 人 憩 い の 家 (県モニタリングポスト川永田)	最 高	47	41	49	49
				最 低	24	23	23	23
				平 均	25	25	25	25
Ik-24		九 町	町 見 公 民 館 (県モニタリングポスト九町)	最 高	52	49	57	57
				最 低	33	33	33	33
				平 均	35	35	35	35
Ik-29		二 見	大 成 消 防 詰 所 横 (県モニタリングポスト大成)	最 高	36	33	41	41
				最 低	13	12	12	12
				平 均	14	15	15	15
Ik-32		豊之浦	豊 之 浦 小 学 校 跡 (県モニタリングポスト豊之浦)	最 高	45	43	56	56
				最 低	23	23	23	23
				平 均	25	25	26	25
Ik-35		二 見	佐 田 岬 亀 ケ 池 温 泉 (県モニタリングポスト加周)	最 高	58	52	56	58
				最 低	24	23	23	23
				平 均	26	26	27	26

(注) 宇宙線寄与分はほとんど含まれていない。



b 広域（おおむね5～30km 圏内）

（単位：nGy/h）

地点 番号	測 定 場 所		測 定 地 点 名	測 定 値 <small>(注)</small>				
	市 町	地 名			4 月	5 月	6 月	第 1 ・ 四半期
Ik-49	伊 方 町	正 野	八 幡 浜 警 察 署 串 警 察 官 連 絡 所 跡 (県モニタリングポスト三崎)	最高	49	46	54	54
				最低	25	25	24	24
				平均	26	27	27	27
Ya-14	八幡浜市	若 山	八幡浜市民スポーツパーク (県モニタリングポスト双岩)	最高	35	36	34	36
最低				16	16	15	15	
平均				17	17	18	17	
Ya-16		真網代	八 幡 浜 市 立 真 穴 小 学 校 (県モニタリングポスト真穴)	最高	47	49	49	49
				最低	33	33	34	33
				平均	35	35	35	35
Oo-03	大 洲 市	長 浜	肱 川 あ ら し 展 望 公 園 (県モニタリングポスト長浜)	最高	60	65	57	65
				最低	35	35	35	35
				平均	37	37	37	37
Oo-07		柴	大 洲 市 養 護 老 人 ホ ー ム さ く ら 苑 (県モニタリングポスト柴)	最高	53	49	51	53
				最低	26	25	25	25
				平均	28	28	28	28
Oo-17		平野町 野 田	八 幡 浜 ・ 大 洲 地 区 総 合 運 動 公 園 (県モニタリングポスト平野)	最高	59	57	59	59
				最低	36	36	36	36
				平均	38	38	39	38
Se-09	西 予 市	三瓶町 有太刀	福 島 展 望 公 園 あ ら パ ー ク (県モニタリングポスト三瓶)	最高	53	55	52	55
				最低	28	28	28	28
				平均	30	30	31	30
Se-11		野村町 野 村	野 村 シ ル ク 博 物 館 (県モニタリングポスト野村)	最高	81	77	85	85
				最低	58	56	57	56
				平均	60	60	61	60
Se-16		明浜町 高 山	あ け は ま シ ー サ イ ド ・ サ ン パ ー ク (県モニタリングポスト明浜)	最高	53	57	62	62
				最低	35	35	35	35
				平均	36	37	37	37
Iy-02	伊 予 市	双海町 串	伊 予 市 下 灘 ふ れ あ い グ ラ ウ ン ド (県モニタリングポスト下灘)	最高	86	95	79	95
				最低	57	56	57	56
				平均	59	59	60	59
Uc-02	内 子 町	平 岡	内 子 町 役 場 (県モニタリングポスト内子)	最高	54	52	53	54
				最低	34	33	33	33
				平均	36	35	36	36
Uw-02	宇和島市	吉田町 沖 村	東 蓮 寺 ダ ム 桜 公 園 (県モニタリングポスト吉田)	最高	69	69	72	72
				最低	49	49	48	48
				平均	51	51	52	51

（注） 宇宙線寄与分はほとんど含まれていない。

c (参考) 環境放射能水準調査用モニタリングポスト

(単位：nGy/h)

測 定 場 所		測 定 地 点 名	測 定 値 <sup>(注1)</sup>				
市	地名			4月	5月	6月	第1・四半期
松 山 市	久米窪田町	産 業 技 術 研 究 所 (水準モニタリングポスト松山)	最 高	110	107	94	110
			最 低	73	72	71	71
			平 均	76	75	76	76
新 居 浜 市	大生院	総 合 科 学 博 物 館 (水準モニタリングポスト新居浜)	最 高	98	94	90	98
			最 低	65	64	64	64
			平 均	68	67	68	68
今 治 市	桜井	今 治 東 中 等 教 育 学 校 (水準モニタリングポスト今治)	最 高	88	88	91	91
			最 低	65	64	62	62
			平 均	67	67	67	67
八 幡 浜 市	愛宕山	八 幡 浜 市 立 愛 宕 中 学 校 跡 (水準モニタリングポスト八幡浜) <sup>(注2)</sup>	最 高	33	36	34	36
			最 低	17	16	16	16
			平 均	18	18	18	18
宇 和 島 市	丸穂町	宇 和 島 市 立 天 神 公 民 館 (水準モニタリングポスト宇和島)	最 高	47	48	51	51
			最 低	31	31	31	31
			平 均	33	33	33	33

(注1) 宇宙線寄与分はほとんど含まれていない。

(注2) 八幡浜市立愛宕中学校跡は、市道拡張に伴う移設工事のため、令和7年6月30日から7月10日まで欠測となっている。

## (b) 10 分間平均値の最大値

(単位：nGy/h)

地点 番号	測定場所		測定地点名	測定値 <sup>(注)</sup>				自動通報 設定値
	町	地名		4月	5月	6月	第1・四半期	
Ik-19	伊方町	九 町	九 町 越 公 園 (県モニタリングステーション)	42	38	48	48	73
Ik-01-1		伊方越	茅 ト ン ネ ル 北 口 付 近 (県モニタリングポスト伊方越)	48	45	57	57	87
Ik-09-1		湊 浦	伊 方 町 役 場 (県モニタリングポスト湊浦)	43	39	52	52	69
Ik-17		川永田	川 永 田 老 人 憩 い の 家 (県モニタリングポスト川永田)	54	42	52	54	81
Ik-24		九 町	町 見 公 民 館 (県モニタリングポスト九町)	58	50	60	60	76
Ik-29		二 見	大 成 消 防 詰 所 横 (県モニタリングポスト大成)	40	35	42	42	62
Ik-32		豊之浦	豊 之 浦 小 学 校 跡 (県モニタリングポスト豊之浦)	50	45	60	60	83
Ik-35		二 見	佐 田 岬 亀 ケ 池 温 泉 (県モニタリングポスト加周)	62	55	60	62	88

(注) 宇宙線寄与分はほとんど含まれていない。

## (イ) 加圧型電離箱検出器

## (a) 1時間平均値

## a 発電所周辺 (5km 圏内)

(単位 : nGy/h)

地 点 番 号	測 定 場 所		測 定 地 点 名	測 定 値 <small>(注)</small>				
	町	地 名			4 月	5 月	6 月	第 1 ・ 四半期
Ik-19	伊方町	九 町	九 町 越 公 園 (県モニタリングステーション)	最 高	73	71	79	79
				最 低	52	52	51	51
				平 均	54	55	54	54
Ik-01-1		伊方越	茅 ト ン ネ ル 北 口 付 近 (県モニタリングポスト伊方越)	最 高	76	77	87	87
				最 低	52	52	52	52
				平 均	54	55	55	55
Ik-09-1		湊 浦	伊 方 町 役 場 (県モニタリングポスト湊浦)	最 高	75	73	84	84
				最 低	58	58	58	58
				平 均	60	60	60	60
Ik-17		川永田	川 永 田 老 人 憩 い の 家 (県モニタリングポスト川永田)	最 高	80	74	85	85
				最 低	56	55	55	55
				平 均	58	58	58	58
Ik-24		九 町	町 見 公 民 館 (県モニタリングポスト九町)	最 高	86	81	89	89
				最 低	67	66	65	65
				平 均	68	68	68	68
Ik-29		二 見	大 成 消 防 詰 所 横 (県モニタリングポスト大成)	最 高	79	76	83	83
				最 低	56	56	56	56
				平 均	59	59	59	59
Ik-32		豊之浦	豊 之 浦 小 学 校 跡 (県モニタリングポスト豊之浦)	最 高	79	77	86	86
				最 低	58	57	57	57
				平 均	60	60	60	60
Ik-35		二 見	佐 田 岬 亀 ケ 池 温 泉 (県モニタリングポスト加周)	最 高	88	83	84	88
				最 低	57	57	56	56
				平 均	60	60	59	60

(注) 宇宙線寄与分が約 30nGy/h 含まれている。

b 広域（おおむね5～30km 圏内）

（単位：nGy/h）

地 点 番 号	測 定 場 所		測 定 地 点 名	測 定 値 (注)				
	市 町	地 名			4 月	5 月	6 月	第 1 ・ 四 半 期
Ik-49	伊 方 町	正 野	八 幡 浜 警 察 署 串 警 察 官 連 絡 所 跡 ( 県 モ ニ タ リ ン グ ポ ス ト 三 崎 )	最 高	93	91	97	97
				最 低	71	70	70	70
				平 均	73	74	74	74
Ya-14	八 幡 浜 市	若 山	八 幡 浜 市 民 ス ポ ー ツ パ ー ク ( 県 モ ニ タ リ ン グ ポ ス ト 双 岩 )	最 高	92	92	90	92
最 低				73	73	73	73	
平 均				76	76	76	76	
Ya-16		真 網 代	八 幡 浜 市 立 真 穴 小 学 校 ( 県 モ ニ タ リ ン グ ポ ス ト 真 穴 )	最 高	90	92	91	92
				最 低	75	75	75	75
				平 均	78	78	78	78
0o-03	大 洲 市	長 浜	肱 川 あ ら し 展 望 公 園 ( 県 モ ニ タ リ ン グ ポ ス ト 長 浜 )	最 高	97	101	95	101
				最 低	74	74	74	74
				平 均	77	77	77	77
0o-07		柴	大 洲 市 養 護 老 人 ホ ー ム さ く ら 苑 ( 県 モ ニ タ リ ン グ ポ ス ト 柴 )	最 高	103	99	101	103
				最 低	77	76	76	76
				平 均	80	80	80	80
0o-17		平野町 野 田	八 幡 浜 ・ 大 洲 地 区 総 合 運 動 公 園 ( 県 モ ニ タ リ ン グ ポ ス ト 平 野 )	最 高	95	94	94	95
				最 低	74	73	73	73
				平 均	76	76	76	76
Se-09	西 予 市	三瓶町 有太刀	福 島 展 望 公 園 あ ら パ ー ク ( 県 モ ニ タ リ ン グ ポ ス ト 三 瓶 )	最 高	111	113	110	113
				最 低	88	88	88	88
				平 均	91	91	92	91
Se-11		野村町 野 村	野 村 シ ル ク 博 物 館 ( 県 モ ニ タ リ ン グ ポ ス ト 野 村 )	最 高	115	114	119	119
				最 低	96	95	95	95
				平 均	99	98	99	99
Se-16		明浜町 高 山	あ け は ま シー サ イ ド ・ サ ン パ ー ク ( 県 モ ニ タ リ ン グ ポ ス ト 明 浜 )	最 高	104	106	111	111
				最 低	88	88	88	88
				平 均	90	91	91	91
Iy-02	伊 予 市	双海町 串	伊 予 市 下 灘 ふ れ あ い グ ラ ウ ン ド ( 県 モ ニ タ リ ン グ ポ ス ト 下 灘 )	最 高	121	129	115	129
				最 低	96	96	95	95
				平 均	99	99	98	99
Uc-02	内 子 町	平 岡	内 子 町 役 場 ( 県 モ ニ タ リ ン グ ポ ス ト 内 子 )	最 高	103	100	100	103
				最 低	83	83	82	82
				平 均	86	86	86	86
Uw-02	宇和島市	吉田町 沖 村	東 蓮 寺 ダ ム 桜 公 園 ( 県 モ ニ タ リ ン グ ポ ス ト 吉 田 )	最 高	103	104	107	107
				最 低	87	86	86	86
				平 均	89	89	89	89

（注） 宇宙線寄与分が約 30nGy/h 含まれている。

## (b) 10 分間平均値の最大値

(単位：nGy/h)

地 点 番 号	測 定 場 所		測 定 地 点 名	測 定 値 <sup>(注)</sup>				自動通報 設 定 値
	町	地 名		4 月	5 月	6 月	第 1・四半期	
Ik-19	伊方町	九 町	九 町 越 公 園 (県モニタリングステーション)	77	73	81	81	108
Ik-01-1		伊方越	茅 ト シ ネ ル 北 口 付 近 (県モニタリングポスト伊方越)	82	80	89	89	116
Ik-09-1		湊 浦	伊 方 町 役 場 (県モニタリングポスト湊浦)	79	75	86	86	105
Ik-17		川永田	川 永 田 老 人 憩 い の 家 (県モニタリングポスト川永田)	87	75	89	89	113
Ik-24		九 町	町 見 公 民 館 (県モニタリングポスト九町)	92	84	93	93	110
Ik-29		二 見	大 成 消 防 詰 所 横 (県モニタリングポスト大成)	82	79	86	86	103
Ik-32		豊之浦	豊 之 浦 小 学 校 跡 (県モニタリングポスト豊之浦)	84	78	90	90	116
Ik-35		二 見	佐 田 岬 亀 ケ 池 温 泉 (県モニタリングポスト加周)	92	86	87	92	116

(注) 宇宙線寄与分が約 30nGy/h 含まれている。

## (ウ) 通信機能付き電子線量計

(単位：nGy/h)

測定場所		測定地点名	1 時間 平 均 値 (注)				
市	町			4 月	5 月	6 月	第 1・四半期
伊 方 町	大 江	瀬戸グループリビング ほのぼの苑	最 高	70	67	69	70
			最 低	26	25	27	25
			平 均	39	40	39	39
	田 部	田 部 集 会 所	最 高	70	73	72	73
			最 低	30	30	29	29
			平 均	43	44	43	43
	川 之 浜	川 之 浜 公 園	最 高	86	78	86	86
			最 低	43	41	42	41
			平 均	59	59	58	59
	二 名 津	二 名 津 小 学 校 跡	最 高	77	78	80	80
			最 低	35	38	36	35
			平 均	53	52	52	52
	与 修	みさき風の丘パーク	最 高	68	61	64	68
			最 低	29	28	30	28
			平 均	43	43	43	43
	名 取	名 取 小 学 校 跡	最 高	80	67	74	80
			最 低	32	32	30	30
			平 均	47	48	47	47
	井 野 浦	井 野 浦 集 会 所	最 高	83	84	79	84
			最 低	43	43	42	42
			平 均	60	59	59	59
八 幡 浜 市	磯 崎	磯 津 保 育 所 跡	最 高	63	59	61	63
			最 低	28	27	31	27
			平 均	42	42	41	42
	筵 田	筵 田 集 会 所	最 高	77	77	73	77
			最 低	40	38	39	38
			平 均	55	55	55	55
	日 土	日 土 保 育 所	最 高	66	67	76	76
			最 低	36	37	33	33
			平 均	49	49	49	49
	宮 内	宮 内 小 学 校	最 高	65	64	67	67
			最 低	34	33	33	33
			平 均	47	47	46	47
	高 野 地	長 谷 小 学 校 跡	最 高	61	66	68	68
			最 低	30	30	29	29
			平 均	43	43	43	43
	川 之 内	川 之 内 小 学 校 跡	最 高	75	76	85	85
			最 低	40	39	38	38
			平 均	54	53	53	53
	郷	千 丈 小 学 校	最 高	83	77	83	83
			最 低	42	42	42	42
			平 均	58	58	58	58
	国 木	牛 名 集 会 所 付 近	最 高	73	72	71	73
			最 低	30	29	29	29
			平 均	44	44	44	44
	川 名 津	川 上 小 学 校	最 高	65	64	66	66
			最 低	31	29	29	29
			平 均	44	43	43	43
	谷	谷 浄 水 場	最 高	65	66	70	70
			最 低	28	26	28	26
			平 均	43	43	42	43
	大 島	大 島 産 業 振 興 セ ン タ ー	最 高	72	72	70	72
			最 低	31	31	22	22
			平 均	46	46	45	46

(単位：nGy/h)

測 定 場 所		測 定 地 点 名	1 時 間 平 均 値 (注)				
市	町			4 月	5 月	6 月	第 1 ・ 四 半 期
大 洲 市	今 坊	喜 多 漁 港	最 高	81	69	73	81
			最 低	36	34	33	33
			平 均	49	48	48	48
	田 処	田 処 ふ れ あ い 広 場	最 高	68	65	70	70
			最 低	28	26	27	26
			平 均	42	42	43	42
	戒 川	戒 川 ふ れ あ い 広 場	最 高	92	92	99	99
			最 低	44	50	48	44
			平 均	68	67	67	67
	下 須 戒	郷 3 号 公 園	最 高	92	83	83	92
			最 低	45	45	45	45
			平 均	62	61	61	61
	柳 沢	柳 沢 ふ れ あ い 広 場	最 高	69	66	70	70
			最 低	28	28	29	28
			平 均	43	43	43	43
	櫛 生	櫛 生 ふ れ あ い 広 場	最 高	74	76	83	83
			最 低	40	37	38	37
			平 均	53	53	53	53
	八 多 喜	大 洲 東 中 学 校	最 高	68	66	72	72
			最 低	34	36	36	34
			平 均	50	50	50	50
	豊 茂	豊 茂 ふ れ あ い 広 場	最 高	106	93	97	106
			最 低	46	51	49	46
			平 均	68	68	67	68
	喜 多 山	旧 新 谷 公 民 館 地 喜 多 山 分 館 用 地	最 高	72	70	73	73
			最 低	35	33	33	33
			平 均	48	47	47	47
	五 郎	五 郎 大 谷 公 園	最 高	79	76	78	79
			最 低	43	38	40	38
			平 均	59	58	58	58
	上 須 戒	上 須 戒 ふ れ あ い 広 場	最 高	89	85	72	89
			最 低	38	39	34	34
			平 均	54	53	52	53
	新 谷	新 谷 コ ミ ュ ニ テ ィ セ ン タ ー	最 高	59	59	60	60
			最 低	29	29	28	28
			平 均	41	41	41	41
	東 大 洲	大 洲 市 総 合 福 祉 セ ン タ ー	最 高	80	75	79	80
			最 低	38	38	40	38
			平 均	56	55	55	55
	宇 津	宇 津 橋 付 近	最 高	57	56	59	59
			最 低	22	21	17	17
			平 均	34	34	34	34
	大 竹	父 集 会 所	最 高	59	59	63	63
			最 低	28	27	26	26
			平 均	40	40	40	40
	平 地	平 野 コ ミ ュ ニ テ ィ セ ン タ ー 平 地 上 分 館	最 高	70	73	68	73
			最 低	33	33	32	32
			平 均	50	49	50	50
	北 只	国 立 大 洲 青 少 年 家 交 流 の 家	最 高	80	78	77	80
			最 低	39	37	39	37
			平 均	54	54	54	54
	森 山	県 道 4 4 号 線 ( 残 地 部 )	最 高	76	73	76	76
			最 低	39	35	38	35
			平 均	53	52	53	53
	野 田	明 日 香 集 会 所	最 高	106	98	111	111
			最 低	60	57	54	54
			平 均	77	76	76	76
	野 佐 来	南 久 米 ふ れ あ い 広 場	最 高	90	93	94	94
			最 低	50	47	46	46
			平 均	67	65	65	66
	蔵 川	蔵 川 ふ れ あ い 広 場	最 高	90	94	94	94
			最 低	49	48	47	47
			平 均	69	68	68	68



(単位：nGy/h)

測 定 場 所		測 定 地 点 名	1 時 間 平 均 値 (注)				
市	町			4 月	5 月	6 月	第 1・四半期
西 予 市	白 髭	白 髭 集 会 所	最 高	96	98	93	98
			最 低	49	46	48	46
			平 均	67	64	65	65
	河 内	多 田 地 域 づ く り 活 動 セ ン タ ー (Se-02)	最 高	78	70	69	78
			最 低	32	27	30	27
			平 均	46	45	44	45
	富 野 川	天 満 神 社 付 近	最 高	95	82	87	95
			最 低	41	40	39	39
			平 均	62	60	61	61
	鳥 鹿 野	湊 筋 地 域 づ く り 活 動 セ ン タ ー	最 高	91	87	92	92
			最 低	50	45	50	45
			平 均	66	65	65	65
	永 長	西 予 市 民 病 院	最 高	92	81	85	92
			最 低	43	43	42	42
			平 均	60	60	59	60
	長 谷	長 谷 地 区 農 業 集 落 排 水 処 理 施 設	最 高	94	90	90	94
			最 低	44	43	45	43
			平 均	63	62	62	62
	西 山 田	石 城 地 域 づ く り 活 動 セ ン タ ー	最 高	74	67	69	74
			最 低	31	33	32	31
			平 均	47	47	46	47
	新 城	田 之 筋 小 学 校	最 高	93	81	83	93
			最 低	49	48	46	46
			平 均	64	64	62	63
	朝 立	西 予 市 役 所 三 瓶 支 所	最 高	81	85	80	85
			最 低	40	39	40	39
			平 均	56	56	55	56
	周 木	三 瓶 周 木 地 区 グ ラ ウ ン ド	最 高	73	82	75	82
			最 低	34	29	32	29
			平 均	48	47	47	47
	明 間	明 間 地 域 づ く り 活 動 セ ン タ ー	最 高	80	80	79	80
			最 低	39	40	39	39
			平 均	56	56	56	56
	皆 田	下 宇 和 地 域 づ く り 活 動 セ ン タ ー	最 高	82	84	84	84
			最 低	41	40	42	40
			平 均	60	59	59	59
	下 泊	三 瓶 下 泊 地 区 グ ラ ウ ン ド	最 高	90	89	92	92
			最 低	49	49	50	49
			平 均	68	68	67	68
	俵 津	俵 津 地 域 づ く り 活 動 セ ン タ ー	最 高	67	70	69	70
			最 低	31	31	31	31
			平 均	45	45	46	45
	宮 野 浦	明 浜 西 運 動 場	最 高	103	98	112	112
			最 低	55	56	58	55
			平 均	78	76	76	77
伊 予 市	富 貴	市 道 富 貴 支 線 ( 残 地 部 )	最 高	84	86	79	86
			最 低	41	38	37	37
			平 均	55	55	54	55
宇 和 島 市	白 浦	白 浦 コ ミ ュ ニ テ ィ ー セ ン タ ー	最 高	86	85	89	89
			最 低	46	48	46	46
			平 均	66	65	65	65
	奥 浦	船 間 集 会 所	最 高	87	88	84	88
			最 低	46	48	48	46
			平 均	66	65	64	65
	嘉 島	嘉 島 小 学 校	最 高	86	94	86	94
			最 低	44	47	42	42
			平 均	65	65	64	65

(注) 測定結果は、当該1時間における2分値の平均値を記載している。

(参考) 通信機能付き電子線量計は、緊急時の避難等防護措置の判断に用いることを目的に設置しており、伊方地域の平常時では測定範囲(200nGy/h～10mGy/h)未満となるが参考までに掲げた。

通信機能付き電子線量計は、緊急時の防護措置に用いることを目的に、高線量率域を測定対象として設置しており、平常時の測定値（2分値）はばらつきが大きく、0から約300nGy/hの範囲で変動する。参考に防護措置の判断に用いる1時間値と公表される最小の時間値である2分値の変動例を示す。

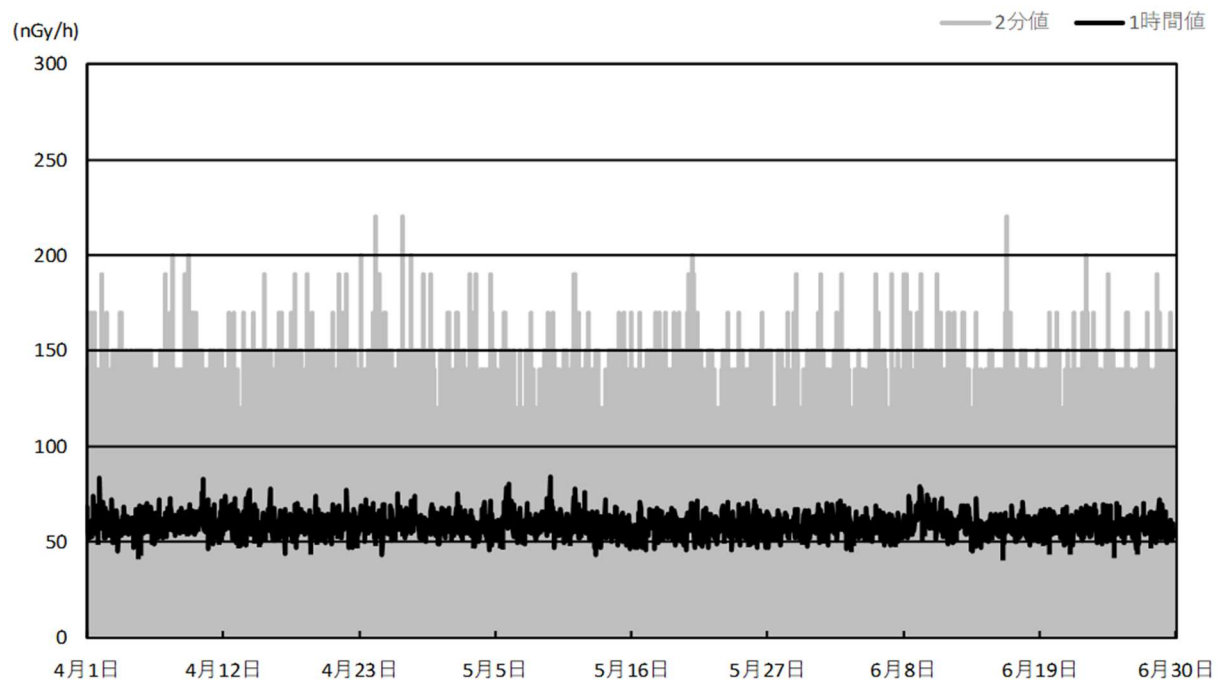


図1 通信機能付き電子線量計線量率（井野浦局）の推移

イ 線量率（定期測定）

(ア) 球形3"φNaI(Tl)シンチレーション検出器

地点番号	測定場所		測定地点名	測定		(注1)	(注2)	(注3)	(注4)
	市	町	地名	年月日	時間(s)	γ線線量率(nGy/h)	宇宙線線量率(nGy/h)	総線量率(nGy/h)	平均γ線線束係数( $(\gamma/\text{cm}^2\cdot\text{s})/(\text{nGy/h})$ )
Ik-03-1	伊方町	亀浦	亀浦配水池下	7.4.3	1,000	11	28	39	0.144
Ik-06		湊浦	伊方中学校	7.4.4	1,000	73	27	100	0.105
Ik-15		発電所周辺	九町越 (Ik-15)	7.4.4	1,000	12	30	42	0.131
Ik-19		九町	九町越公園 (県モニタリングステーション)	7.4.4	1,000	24	29	53	0.109
Ik-21		川永田	伊方町民グラウンド	7.4.4	1,000	69	29	98	0.105
Ik-23		二見	鳥津集会所	7.4.3	1,000	17	25	42	0.123
Ik-26		九町	九町小学校	7.4.4	1,000	53	27	80	0.106
Ya-07	八幡浜市	保内町宮内	原子力センター	7.4.3	1,000	23	27	50	0.117
Ya-09		北浜	県八幡浜支局	7.4.3	1,000	39	26	65	0.109

(注1) γ線線量率は、0～3MeVまで10keV間隔の線量率の積分値である。

(注2) 宇宙線線量率は、3MeV以上の情報を宇宙線に基づくものとして取扱い、3MeV以上の計数率(cps)に定数(18.5(nGy/h)/cps)を用いて宇宙線線量率相当とした。

(注3) 総線量率は、γ線・宇宙線を加えた測定時間内の平均線量率である。

(注4) 平均γ線線束係数は、単位線量率(nGy/h)当たりのγ線線束密度( $\gamma/\text{cm}^2\cdot\text{s}$ )で、環境γ線の平均エネルギーと関係がある。その一例を次表に示す。

平均γ線線束係数( $(\gamma/\text{cm}^2\cdot\text{s})/(\text{nGy/h})$ )	平均エネルギー (MeV)
0.1	0.60
0.2	0.30
0.3	0.27
0.4	0.17

(参考) 伊方中学校、伊方町民グラウンド及び九町小学校の測定値は、運動場に使った中予地区の真砂土（花崗岩質）の影響で、伊方地域の他の地点と異なっている。

## (イ) 1"φ×1"NaI(Tl)シンチレーション検出器(エネルギー補償回路付)

(単位:nGy/h)

地点番号	測定場所		測定地点名	測定年月日	(注1、2) 測定値
	市町	地名			
Ik-03-1	伊方町	亀浦	亀浦配水池下	7.4.3	18
Ik-06		湊浦	伊方中学校	7.4.4	65
Ik-15		発電所 周辺	九町越 (Ik-15)	7.4.4	19
Ik-19		九町	九町越公園 (県モニタリングステーション)	7.4.4	30
Ik-21		川永田	伊方町民グラウンド	7.4.4	65
Ik-23		二見	鳥津集会所	7.4.3	22
Ik-26		九町	九町小学校	7.4.4	56
Ya-07	八幡浜市	保内町内 宮	原子力センター	7.4.3	28
Ya-09		北浜	県八幡浜支局	7.4.3	43

(注1) 宇宙線の寄与分はほとんど含まれていない。

(注2) 最小測定単位0.01μGy/hの機器で10回測定した平均値を記載した。

(参考) 伊方中学校、伊方町民グラウンド及び九町小学校の測定値は、運動場に使った中予地区の真砂土(花崗岩質)の影響で、伊方地域の他の地点と異なっている。

## (ウ) 走行サーベイシステム(定点測定)

(CsI(Tl)シンチレーション検出器(温度補償回路付))

(単位:nGy/h)

地点番号	測定場所		測定地点名	測定		測定値(注1、2、3)		
	市町	地名		年月日	時間(m)	最高	最低	平均
Ik-06	伊方町	湊浦	伊方中学校	7.5.14	60	60	52	56
Ik-15		発電所 周辺	九町越 (Ik-15)	7.5.15	60	15	11	13
(注4) Ik-19		九町	九町越公園 (県モニタリングステーション)	7.5.20	60	15 (17)	10 (16)	13 (17)
Ik-21		川永田	伊方町民グラウンド	7.5.15	60	59	49	54
Ik-26		九町	九町小学校	7.5.14	60	51	41	46
Ya-07	八幡浜市	保内町内 宮	原子力センター	7.5.14	60	24	19	22

(注1) 宇宙線の寄与分はほとんど含まれていない。

(注2) 車外の地上1mで測定した値である。

(注3) 測定値は、1分間平均値の最高、最低及び平均を示した。

(注4) 同時刻の県モニタリングステーションにおける測定値を( )内に示した。

(参考) 伊方中学校、伊方町民グラウンド及び九町小学校の測定値は、運動場に使った中予地区の真砂土(花崗岩質)の影響で、伊方地域の他の地点と異なっている。

## (エ) 可搬型ゲルマニウム半導体検出器

(単位：nGy/h)

地点 番号	測 定 場 所		測 定 地 点 名	測 定		測 定 値 <sup>(注)</sup>				
	市 町	地 名		年 月 日	時間 (s)	U-系列 寄与	Th-系列 寄与	K-40	Cs-137	計
Ik-06	伊 方 町	湊 浦	伊 方 中 学 校	7. 5. 14	4, 000	20	31	38	検出されず <sup>a</sup>	88
Ik-15		発 電 所 周 辺	九 町 越 ( Ik-15 )	7. 5. 15	4, 000	2. 0	3. 1	5. 9	0. 050	11
Ik-19		九 町	九 町 越 公 園 (県モニタリングステーション)	7. 5. 20	4, 000	7. 5	9. 9	11	検出されず <sup>a</sup>	28
Ik-21		川 永 田	伊 方 町 民 グ ラ ン ド	7. 5. 15	4, 000	14	24	40	検出されず <sup>a</sup>	78
Ik-26		九 町	九 町 小 学 校	7. 5. 14	4, 000	7. 6	26	27	検出されず <sup>a</sup>	61
Ya-07	八幡浜市	保 内 町 宮 内	原 子 力 セ ン タ ー	7. 5. 14	4, 000	8. 6	8. 8	10	検出されず <sup>a</sup>	27

(注) 測定値は、地上 1 m における  $\gamma$  線のエネルギースペクトルから、それぞれの放射性物質の寄与分を求め算出した線量率である。

(参考) 伊方中学校、伊方町民グラウンド及び九町小学校の測定値は、運動場に使った中予地区の真砂土（花崗岩質）の影響で、伊方地域の他の地点と異なっている。

## (オ) 可搬型モニタリングポスト

(2"φ×2"NaI(Tl)シンチレーション検出器 (エネルギー補償回路付) )

(単位：nGy/h)

地 点 番 号	測 定 場 所		測 定 地 点 名	測 定 年 月 日	測 定 値 <sup>(注1, 2)</sup>		
	市 町	地 名			最 高	最 低	平 均
Ik-06	伊 方 町	湊 浦	伊 方 中 学 校	7. 4. 15～7. 4. 17	56	53	54
Ik-19		九 町	九 町 越 公 園 (県モニタリングステーション)	7. 5. 12～7. 5. 14	23	22	23
Ik-21		川 永 田	伊 方 町 民 グ ラ ン ド	7. 4. 16～7. 4. 18	41	40	40
Ik-27		二 見	二 見 の 丘 り ン ク	7. 4. 15～7. 4. 17	33	30	31
Ya-04	八幡浜市	保 内 町 宮 内	両 家 ・ 枇 杷 谷 自 治 公 民 館	7. 5. 12～7. 5. 14	27	26	26
Ya-07		保 内 町 宮 内	原 子 力 セ ン タ ー	7. 4. 15～7. 4. 17	26	24	24
0o-12	大 洲 市	上 須 戒	上 須 戒 コ ミ ュ ニ テ ィ セ ン タ ー	7. 5. 26～7. 5. 28	33	32	33
<sup>(注3)</sup> 0o-21		肱 川 町 山 島 坂	大 洲 市 肱 川 支 所	7. 5. 26～7. 5. 28	25	23	24
Se-02	西 予 市	宇 和 町 河 内	多 田 地 域 づ く り 活 動 セ ン タ ー	7. 5. 12～7. 5. 14	39	36	37
<sup>(注4)</sup> Uw-01	宇 和 島 市	三 間 町 宮 野 下	宇 和 島 市 三 間 支 所	7. 5. 12～7. 5. 14	37	34	35

(注1) 宇宙線及び検出器のバックグラウンドの寄与分がわずかに含まれている。

(注2) 測定値は、1 時間平均値の最高、最低及び平均を示した。

(注3) 地点番号 0o-21 は、大洲市肱川支所の建替え工事のため、令和 6 年度から同敷地内で地点変更した。

(注4) 地点番号 Uw-01 は、宇和島市三間支所の倉庫新設のため、令和 6 年度から同敷地内で地点変更した。

(参考) 伊方中学校、伊方町民グラウンド及び九町小学校の測定値は、運動場に使った中予地区の真砂土（花崗岩質）の影響で、伊方地域の他の地点と異なっている。

(カ) 走行サーベイシステム（走行測定）  
 (CsI(Tl)シンチレーション検出器（温度補償回路付）)

走行 ルート	測定場所		測定地点名	測定年月日 時間	区間 距離 (km)	平均 時速 (km/h)	天候	測定値(nGy/h) <sup>(注)</sup>		
	市町	道路名						最高	最低	平均
①	伊方町 八幡浜市	国道197号	八幡浜市保内町宮内 ～ 伊方町三崎	7. 6. 16 13:36 ～ 14:30	34.5	38.3	曇	33	8	16
②	八幡浜市 西予市	国道378号 国道197号 県道25号 県道26号	八幡浜市保内町喜木津 ～ 西予市三瓶町長早	7. 6. 30 14:34 ～ 15:19	26.9	35.9	晴	40	13	19
③	大洲市 西予市 宇和島市	国道378号 県道24号 国道56号 国道320号	大洲市長浜 ～ 宇和島市天神町	7. 6. 27 10:38 ～ 12:22	57.2	33.0	晴	56	13	26
④	八幡浜市 大洲市 伊予市	国道378号	八幡浜市保内町喜木津 ～ 伊予市双海町下灘	7. 6. 25 12:18 ～ 13:08	30.7	36.8	晴	45	11	24
⑤	八幡浜市 大洲市 内子町	国道197号 国道56号	八幡浜市江戸岡 ～ 内子町城廻	7. 6. 17 14:13 ～ 15:04	28.9	34.0	晴	37	15	22

(注) 走行サーベイシステムは測定車内に設置するため、測定値は、車外の地上1mの空間線量率に換算した値である。

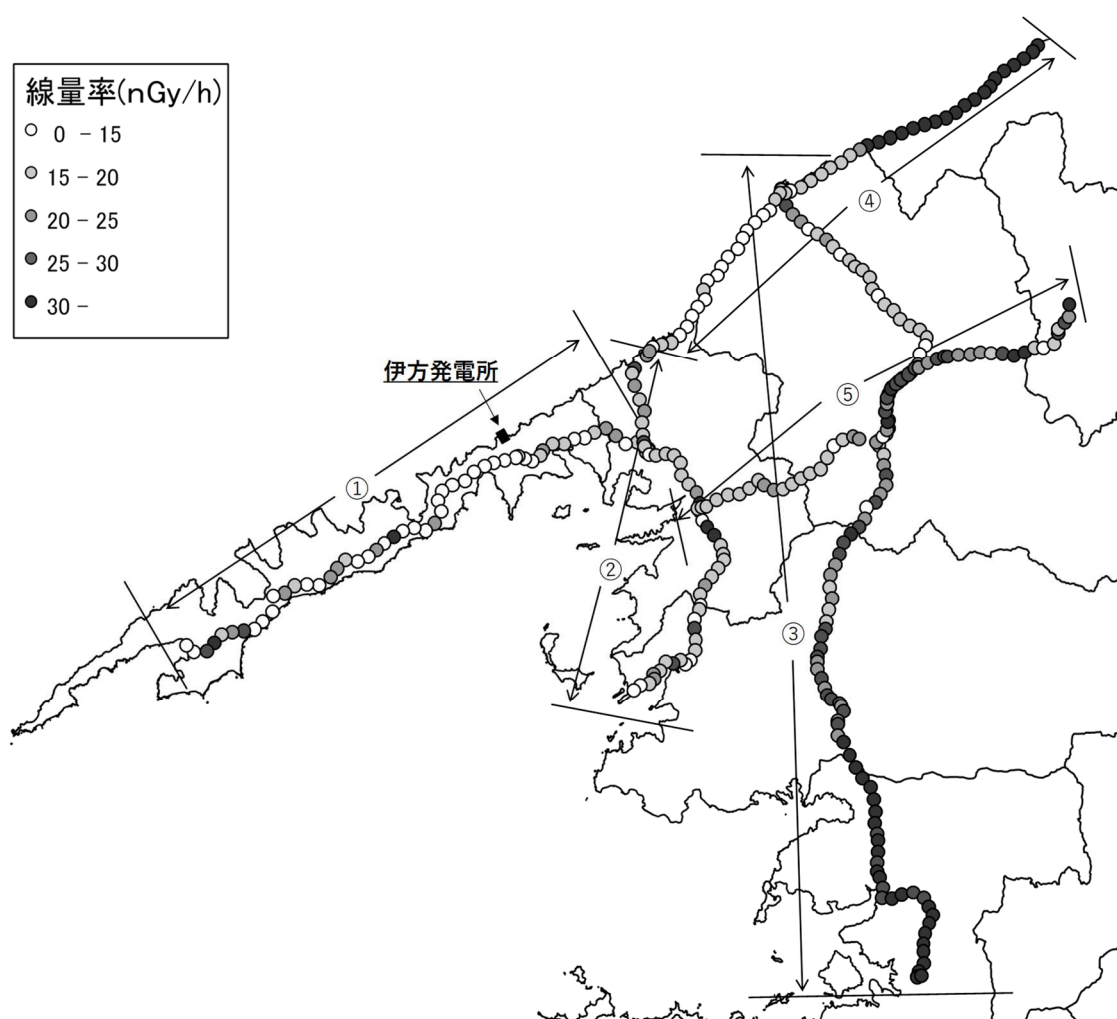
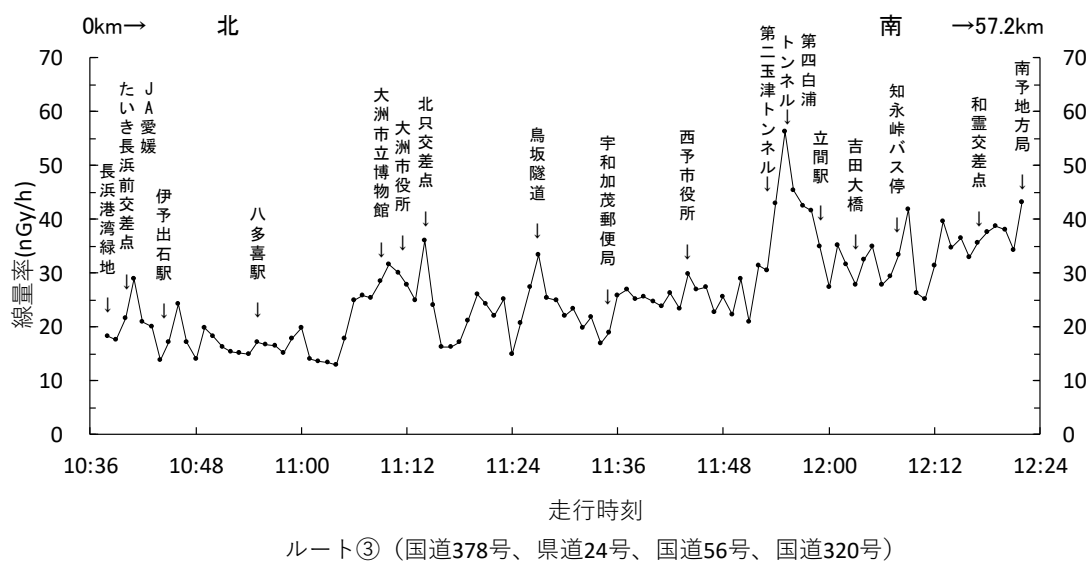
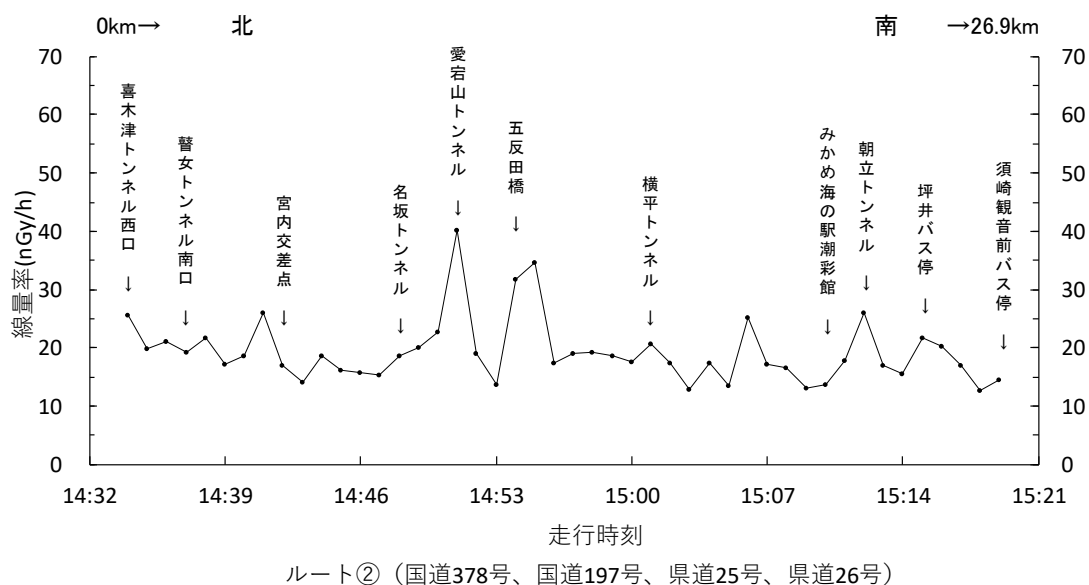
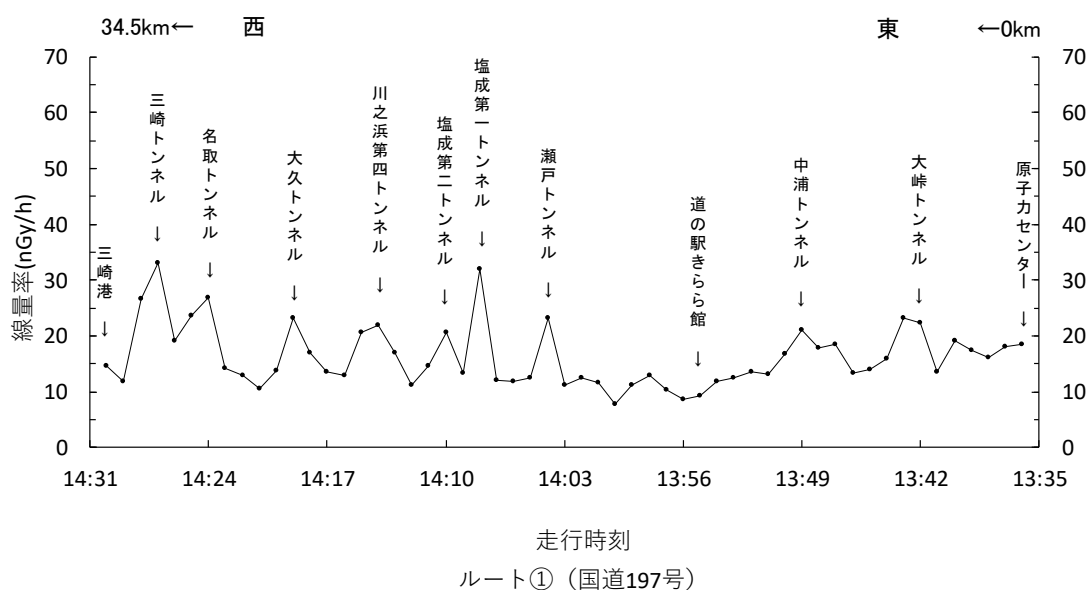


図2-1 CsI(Tl)シンチレーション検出器（温度補償回路付）による測定結果（地図上データ表示）



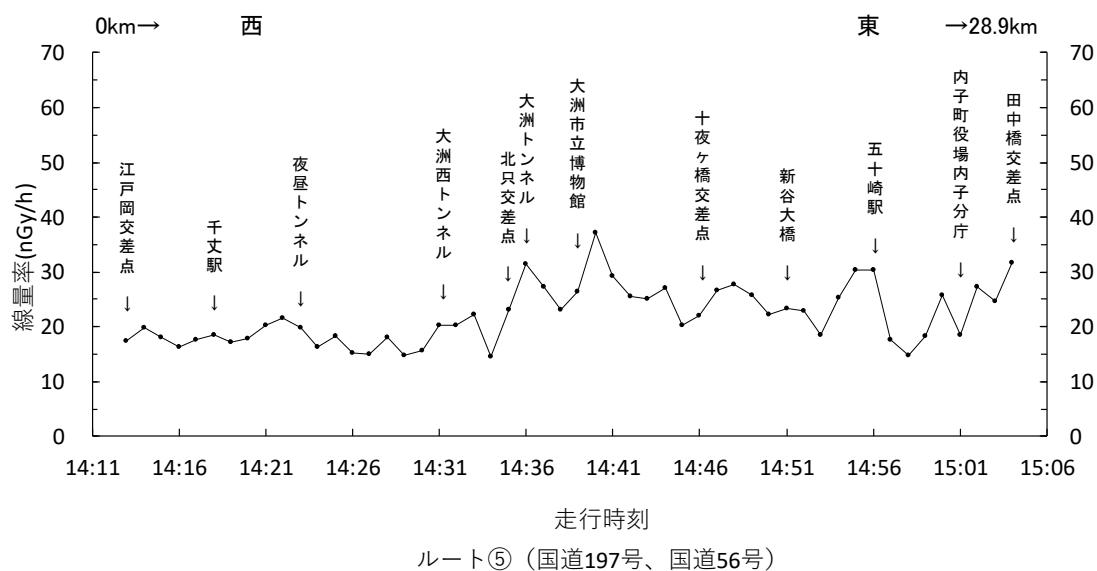
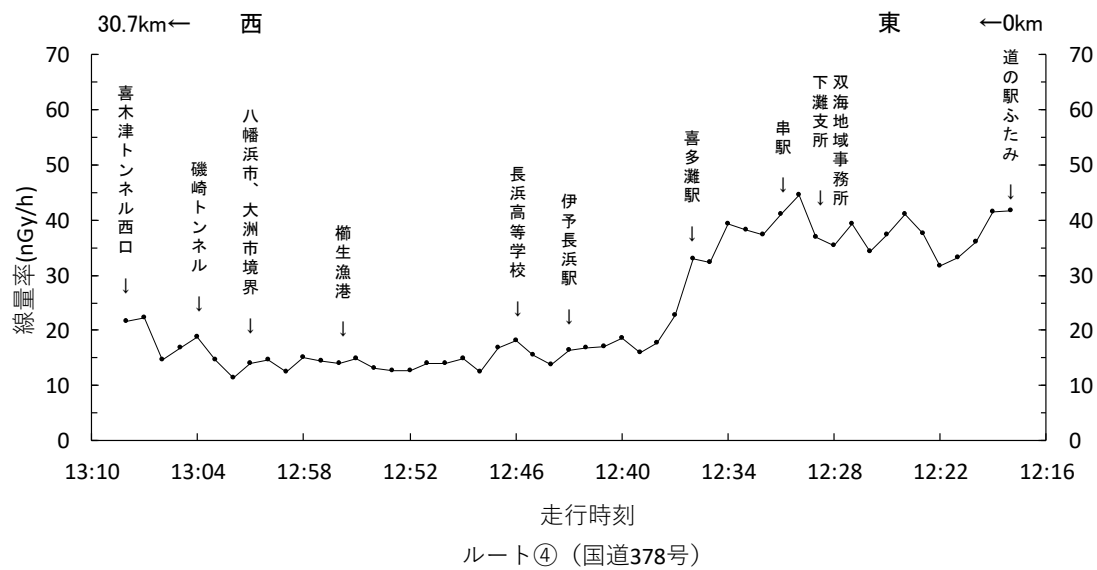


図2-2 CsI(Tl)シンチレーション検出器（温度補償回路付）による測定結果（時系列グラフ）



ウ 積算線量 (NaI (Tl) シンチレーション検出器)

(単位 :  $\mu\text{Gy}/3$  か月)

地 点 番 号	測 定 場 所		測 定 地 点 名	測定値 <sup>(注)</sup> (第1・四半期)
	町	地 名		
Ik-19	伊方町	九 町	九 町 越 公 園 (県モニタリングステーション)	40
Ik-01-1		伊方越	茅 ト ン ネ ル 北 口 付 近 (県モニタリングポスト伊方越)	43
Ik-09-1		湊 浦	伊 方 町 役 場 (県モニタリングポスト湊浦)	54
Ik-17		川永田	川 永 田 老 人 憩 い の 家 (県モニタリングポスト川永田)	55
Ik-24		九 町	町 見 公 民 館 (県モニタリングポスト九町)	76
Ik-29		二 見	大 成 消 防 詰 所 横 (県モニタリングポスト大成)	32
Ik-32		豊之浦	豊 之 浦 小 学 校 跡 (県モニタリングポスト豊之浦)	55
Ik-35		二 見	佐 田 岬 亀 ケ 池 温 泉 (県モニタリングポスト加周)	57

(注) 宇宙線寄与分はほとんど含まれていない。

## 51

## 51

51

試料			市町 採取地点名	採取年月日 (注1)	測定年月日 (注1)	測定値 (注2、3)																単位	
						Be-7	Mn-54	Fe-59	Co-58	Co-60	Zn-65	Zr-95	Nb-95	Ru-103	Ru-106	Sb-125	I-131	Cs-134	Cs-137	Ce-141	Ce-144		K-40
環境試料	陸上試料	植物（杉葉）	伊方町越	7.5.1	7.6.10	11.1 ±0.28	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	55.8 ±0.64	Bq/kg生	
					7.5.1																		
		伊方町大	7.5.1	7.6.10	26.0 ±0.41	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	71.8 ±0.77				
		降下物	伊方町越公園	7.4.30	7.6.11	122 ±1.0	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	3.8 ±0.29	Bq/m <sup>2</sup> ・月	
				7.5.28	7.7.12	101 ±0.95																	
	7.6.30			7.8.5	93.9 ±0.87																		
	海洋試料	海水	伊方町越北東	7.4.14	7.6.11	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	1.6 ±0.30	検出されず	検出されず	(注4)	mBq/L	
		海底土	伊方町越北東	7.4.14	7.6.10	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	155 ±4.4	Bq/kg乾土	
				伊方町江入	7.4.14	7.6.10	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	252 ±4.7		
		魚類	カワハギ	伊方町越	7.5.5	7.5.15	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	0.037 ±0.010	検出されず	検出されず	105 ±0.73	Bq/kg生
			カサゴ	伊方町越	7.4.4	7.5.15	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	0.10 ±0.013	検出されず	検出されず	105 ±0.84		
			メバル	伊方町越	7.4.4	7.5.14	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	0.075 ±0.0087	検出されず	検出されず	108 ±0.60			
			無脊椎動物	ムラサキイガイ	伊方町越	7.4.7	7.5.14	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	97 ±1.1				
		アワビ	伊方町越	7.5.5	7.5.15	0.64 ±0.10	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	46.6 ±0.54					
		海藻類	ヒジキ	伊方町越	7.4.6	7.5.14	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	512 ±2.2	Bq/kg生				
			テングサ	伊方町越	7.4.27	7.5.13	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	182 ±1.1						
			ホンダワラ	伊方町越	7.4.6	7.5.13 7.4.7	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	211 ±1.4							
クロメ			伊方町越	7.4.27	7.5.13	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	320 ±1.8								

- (注1) 採取・測定年月日が核種によって異なる場合には、上段に I-131 以外の核種、下段に I-131 の採取・測定年月日を示した。  
ただし、大気試料は、上段に大気浮遊じん、下段に大気（放射性ヨウ素）の採取・測定年月日を示した。  
また、大気試料の測定値は、I-131 については塵状と気体状の合計値を示し、I-131 以外の核種については塵状の値を示した。
- (注2) 試料の放射能N± ΔNにおいて、N< 3 ΔNのときは、「検出されず」と表示した。
- (注3) Be- 7、K-40 は自然放射性核種である。
- (注4) 海水の K-40 は前処理で除かれているので、測定値欄を「／」と表示した。

イ 核種分析（放射化学分析等）

試 料				町 採 取 地 点 名	採取年月日	H-3		S r-90		P u			単 位
						測定年月日 <sup>(注1)</sup>	測定値 <sup>(注1、2)</sup>	測定年月日 <sup>(注1)</sup>	測定値 <sup>(注1、2)</sup>	測定年月日 <sup>(注1)</sup>	測定値 <sup>(注1、2)</sup>		
										Pu-238	Pu-239+Pu-240		
大 気 試 料	大 気 浮 遊 じ ん			伊 方 町 越 公 町 園 九 町	7. 3. 27～ 7. 4. 30	—	—	—	—	7. 8. 1	—	検出されず <sup>a</sup>	Bq/m <sup>3</sup>
				伊 方 町 浦 湊	7. 3. 27～ 7. 4. 30	—	—	—	—	7. 8. 1	—	検出されず <sup>a</sup>	
				伊 方 町 周 二 見 加	7. 3. 27～ 7. 4. 30	—	—	—	—	7. 8. 1	—	検出されず <sup>a</sup>	
				伊 方 町 越 伊 方	7. 3. 27～ 7. 4. 30	—	—	—	—	7. 8. 1	—	検出されず <sup>a</sup>	
環 境 試 料	土 壌	広域	大 洲 市 市場 柳 沢 ふ れ あ い 広 場	7. 1. 31	—	—	7. 8. 1	検出されず <sup>a</sup>	7. 5. 28	検出されず	0. 22 ± 0. 012	Bq/kg乾土	
			大 洲 市 市 園 富 士 山 公	7. 1. 31	—	—	7. 8. 1	1. 1 ± 0. 12	7. 5. 28	検出されず	0. 026 ± 0. 0042		
			大 洲 市 市場 南 久 米 ふ れ あ い 広 場	7. 1. 31	—	—	7. 8. 1	0. 38 ± 0. 084	7. 6. 2	検出されず	0. 010 ± 0. 0025		
	陸 上 水	広域	西 予 市 市場 明 石 浄 水	7. 1. 8	7. 2. 12	検出されず <sup>a</sup>	7. 8. 1	0. 83 ± 0. 12	—	—	—	<sup>(注3)</sup> mBq/L	
			西 予 市 市場 田 之 筋 浄 水	7. 1. 8	7. 3. 14	検出されず	7. 8. 1	検出されず	—	—	—		
			西 予 市 市場 下 川 浄 水	7. 1. 8	7. 2. 10	検出されず <sup>a</sup>	7. 8. 1	0. 62 ± 0. 084	—	—	—		
	降 下 物			伊 方 町 越 公 町 園 九 町	7. 4. 30	—	—	7. 8. 7	検出されず	—	—	Bq/m <sup>2</sup> ・月	
	降 水	水	伊 方 町 越 公 町 園 九 町	7. 4. 30	7. 6. 29	0. 59 ± 0. 091	—	—	—	—	—	Bq/L	
				7. 5. 28	7. 6. 30	0. 50 ± 0. 090	—	—	—	—	—		
				7. 6. 30	7. 7. 7	0. 56 ± 0. 088	—	—	—	—	—		

試料				町 採取地名	採取年月日	H-3		Sr-90		Pu			単位	
						測定年月日 <sup>(注1)</sup>	測定値 <sup>(注1、2)</sup>	測定年月日 <sup>(注1)</sup>	測定値 <sup>(注1、2)</sup>	測定年月日 <sup>(注1)</sup>	測定値 <sup>(注1、2)</sup>			
											Pu-238	Pu-239+Pu-240		
環境試料	海洋試料	海	水	伊平 方 町 磔 透 過 堤 北 東	7.4.14	7.7.6	0.37 ± 0.092	7.8.7	検出されず	7.8.8	検出されず	検出されず	<sup>(注3)</sup> mBq/L	
			底土	伊平 方 町 磔 透 過 堤 北 東	7.4.14	—	—	7.8.7	検出されず	7.8.6	検出されず	0.52 ± 0.027	Bq/kg乾土	
		伊平 方 磔 沖 入 江		7.4.14	—	—	7.8.7	検出されず	7.8.4	検出されず	0.45 ± 0.025			
		海産生物	魚類	メ バ ル	伊 九 方 町 町 越 町 沖	7.4.4	—	—	7.8.7	検出されず	7.7.31	検出されず	検出されず	Bq/kg生
			海藻類	ヒ ジ キ	伊 九 方 町 町 越 町 沖	7.4.6	—	—	7.8.7	検出されず	—	—	—	
				ホンダワラ	伊 九 方 町 町 越 町 沖	7.4.6	—	—	—	—	7.8.11	検出されず	0.0047 ± 0.00051	

(注1) 測定しなかったものは、「—」と表示した。  
(注2) 試料の放射能 $N \pm \Delta N$ において、 $N < 3 \Delta N$ のときは、「検出されず」と表示した。  
(注3) トリチウム (H-3) の単位はBq/Lである。

## 資料 2 環境放射線等調査 (四国電力(株)調査分)



## 1 測定方法及び測定器

調 査 項 目			測 定 方 法	測 定 器
空間放射線	線量率	モニタリングステーション	連続測定	2”φ×2” NaI(Tl)シンチレーション検出器※ (温度補償・エネルギー補償回路付) 富士電機 NDS3AAA2 富士電機 NDS7KAA1 ※計測部に多重波高分析機能を含む
		モニタリングポスト	放射能測定法シリーズ 「連続モニタによる環境γ線測定法」(平成29年12月改訂)に準ずる。	(富士電機 NDS3AAA2 設置場所) モニタリングステーション、 モニタリングポスト (No. 1、No. 2、No. 3、No. 4) (富士電機 NDS7KAA1 設置場所) 周辺モニタリングポスト (中之浜、三机、塩成、大久、三崎、喜木津、宮内、北浜、大洲、宇和)
		シンチレーションスペクトロメータ	定期測定 放射能測定法シリーズ 「空間γ線スペクトル測定法」(平成2年2月)に準ずる。	球形3”φNaI(Tl)シンチレーション検出器 応用光研工業 12E6Q/MSP-20 スペクトロスコープシステム及び多重波高分析器 キャンベラ IN2K InSpector2000
	積算線量		3か月間積算 放射能測定法シリーズ 「蛍光ガラス線量計を用いた環境γ線量測定法」(平成14年7月改訂)に準ずる。	蛍光ガラス線量計 (線量計) AGC テクノグラス SC-1 (リーダー) AGC テクノグラス FGD-252
大気試料・環境試料	核種分析		放射能測定法シリーズ 「ゲルマニウム半導体検出器によるγ線スペクトロメトリ」(令和2年9月改訂)、「放射性ヨウ素分析法」(平成8年3月改訂)及び「大気中放射性物質測定法(令和4年6月)に準ずる。	高純度ゲルマニウム半導体検出器 オルテック GEM35P4-70 多重波高分析器 セイコー E G & G GammaStation/MCA-7
排水	1・2号機放水口水モニタ		連続測定	2”φ×2” NaI(Tl)シンチレーション検出器 富士電機 NDP22BG1-4YYYY-S
	3号機放水ピット水モニタ		排水の全計数率	



## 2 測定結果

### (1) 空間放射線

#### ア 線量率（連続測定）

（2"φ×2"NaI（Tl）シンチレーション検出器（温度補償・エネルギー補償回路付））

#### (ア) 1時間平均値

##### (a) 発電所周辺（5km圏内）

（単位：nGy/h）

測 定 場 所			測 定 値 <sup>(注)</sup>				
測 定 局 名	町	地 名		4 月	5 月	6 月	第 1 ・ 四半期
四電モニタリングステーション	伊 方 町	九 町 九 町 越	最高	36	33	42	42
			最低	15	15	15	15
			平均	17	17	18	17
四電モニタリングポストNo. 1		発 電 所 周 辺	最高	36	37	45	45
			最低	15	15	14	14
			平均	17	17	17	17
四電モニタリングポストNo. 2		発 電 所 周 辺	最高	33	33	43	43
			最低	13	13	13	13
			平均	15	15	16	15
四電モニタリングポストNo. 3		発 電 所 周 辺	最高	34	29	35	35
			最低	12	12	11	11
			平均	13	13	13	13
四電モニタリングポストNo. 4	発 電 所 周 辺	最高	35	35	46	46	
		最低	14	14	14	14	
		平均	16	16	17	16	

(注) 宇宙線寄与分はほとんど含まれていない。

(b) 広域 (おおむね5～30 km圏内)

(単位：nGy/h)

（単位：kg/ha）

測 定 場 所			測 定 値 <sup>（注）</sup>				
測 定 局 名	市 町	地 名		4 月	5 月	6 月	第 1 ・ 四 半 期
四 電 周 辺 モニタリングポスト中之浜	伊 方 町	中 之 浜	最高	36	36	52	52
			最低	15	14	14	14
			平均	16	16	17	16
四 電 周 辺 モニタリングポスト三机		三 机	最高	39	40	45	45
			最低	17	17	17	17
			平均	18	19	19	19
四 電 周 辺 モニタリングポスト塩成		塩 成	最高	36	35	44	44
			最低	15	15	14	14
			平均	16	17	17	17
四 電 周 辺 モニタリングポスト大久		大 久	最高	40	39	43	43
			最低	14	14	14	14
			平均	16	16	17	16
四 電 周 辺 モニタリングポスト三崎		三 崎	最高	43	39	39	43
			最低	17	17	16	16
			平均	18	18	19	18
四 電 周 辺 モニタリングポスト喜木津	八 幡 浜 市	喜 木 津	最高	37	37	41	41
			最低	17	18	17	17
			平均	19	19	20	19
四 電 周 辺 モニタリングポスト宮内		宮 内	最高	30	31	40	40
			最低	15	14	15	14
			平均	16	16	17	16
四 電 周 辺 モニタリングポスト北浜		北 浜	最高	41	42	41	42
			最低	19	18	18	18
			平均	20	20	21	20
四 電 周 辺 モニタリングポスト大洲	大 洲 市	大 洲	最高	37	36	39	39
			最低	19	19	19	19
			平均	21	21	22	21
四 電 周 辺 モニタリングポスト宇和	西 予 市	宇 和	最高	45	45	45	45
			最低	24	24	24	24
			平均	27	27	27	27

(注) 宇宙線寄与分はほとんど含まれていない。

## (c) (参考) 周辺モニタリングポスト

(単位：nGy/h)

測 定 場 所			測 定 値 <sup>(注)</sup>				
測 定 局 名	町	地 名		4 月	5 月	6 月	第 1 ・ 四半期
四 電 周 辺 モニタリングポスト湊浦	伊 方 町	湊 浦	最高	41	39	50	50
			最低	23	23	23	23
			平均	24	25	25	25
四 電 周 辺 モニタリングポスト鳥津		鳥 津	最高	42	39	46	46
			最低	17	17	17	17
			平均	18	19	19	19
四 電 周 辺 モニタリングポスト亀浦		亀 浦	最高	38	40	49	49
			最低	14	14	13	13
			平均	16	16	17	16
四 電 周 辺 モニタリングポスト九町越		九 町 越	最高	32	36	46	46
			最低	12	11	11	11
			平均	13	14	14	14
四 電 周 辺 モニタリングポスト九町		九 町	最高	42	37	43	43
			最低	22	22	22	22
			平均	24	24	24	24
四 電 周 辺 モニタリングポスト二見		二 見	最高	41	37	48	48
			最低	16	16	16	16
			平均	18	18	19	18

(注) 宇宙線寄与分はほとんど含まれていない。

## (イ) 10 分間平均値の最大値

(単位：nGy/h)

測 定 場 所			測 定 値 (注)				自動通報 設定値
地 点 局 名	町	地 名	4 月	5 月	6 月	第 1 ・ 四半期	
四電モニタリングステーション	伊 方 町	九 町 九 町 越	37	33	44	44	69
四電モニタリングポストNo. 1		発 電 所 周 辺	42	40	47	47	72
四電モニタリングポストNo. 2		発 電 所 周 辺	37	35	45	45	77
四電モニタリングポストNo. 3		発 電 所 周 辺	37	30	37	37	69
四電モニタリングポストNo. 4		発 電 所 周 辺	40	36	48	48	77

(注) 宇宙線寄与分はほとんど含まれていない。

## イ (参考) 線量率 (定期測定) (球形3"φNaI (Tl) シンチレーション検出器)

測 定 場 所		測 定 年 月 日	測定 時間 (s)	γ 線 線量率 (nGy/h)	宇宙線 線量率 (nGy/h)	総 線量率 (nGy/h)	平均 γ 線 線束係数 ( $(\gamma/\text{cm}^2 \cdot \text{s})/(\text{nGy/h})$ )
測 定 地 点 名	地 名						
四電モニタリングポストNo. 1 付近	発電所周辺	7. 5. 23	1, 000	20	27	47	0. 117
四電モニタリングポストNo. 2 付近	発電所周辺	7. 5. 23	1, 000	21	29	50	0. 115
四電モニタリングポストNo. 3 付近	発電所周辺	7. 5. 23	1, 000	14	27	41	0. 119
四電モニタリングポストNo. 4 付近	発電所周辺	7. 5. 23	1, 000	18	27	45	0. 113

## ※マトリックス解法による核種成分別線量率寄与

測 定 場 所		測 定 年 月 日	測定 時間 (s)	測定値 (nGy/h) (注)			
測 定 地 点 名	地 名			U-系列 寄 与	Th-系列 寄 与	K-40	合 計
四電モニタリングポストNo. 1 付近	発電所周辺	7. 5. 23	1, 000	4. 5	8. 1	8. 3	21
四電モニタリングポストNo. 2 付近	発電所周辺	7. 5. 23	1, 000	5. 0	9. 7	7. 1	22
四電モニタリングポストNo. 3 付近	発電所周辺	7. 5. 23	1, 000	3. 0	6. 3	4. 5	14
四電モニタリングポストNo. 4 付近	発電所周辺	7. 5. 23	1, 000	4. 1	7. 6	6. 9	19

(注) 測定値は、γ線のエネルギースペクトルからそれぞれの放射性物質の寄与分を求め算出した。

ウ (参考) 積算線量 (蛍光ガラス線量計)

(単位:  $\mu\text{Gy}$ /3か月)

地点 番号	測 定 場 所		測 定 地 点 名	測定値 (第1・四半期)
	市 町	地 名		
1	伊 方 町	発電所周辺	四電モニタリングポイント No. 1	89
2		発電所周辺	四電モニタリングポイント No. 2	87
3		発電所周辺	四電モニタリングポイント No. 3	89
4		発電所周辺	四電モニタリングポイント No. 4	96
5		発電所周辺	四電モニタリングポイント No. 5	87
6		発電所周辺	四電モニタリングポイント No. 6	87
7		発電所周辺	四電モニタリングポイント No. 7	86
8		九町九町越	四電モニタリングポイント No. 8	82
9		三机佐市	四電モニタリングポイント No. 9	100
10		足 成	四電モニタリングポイント No. 10	102
11		二見古屋敷	四電モニタリングポイント No. 11	103
12		二見鳥津	四電モニタリングポイント No. 12	110
13		二見本浦	四電モニタリングポイント No. 13	87
14		九 町 西	四電モニタリングポイント No. 14	97
15		九 町 畑	四電モニタリングポイント No. 15	97
16		豊 之 浦	四電モニタリングポイント No. 16	104
17		亀 浦	四電モニタリングポイント No. 17	104
18		伊 方 越	四電モニタリングポイント No. 18	104
19		川 永 田	四電モニタリングポイント No. 19	103
20		湊 浦	四電モニタリングポイント No. 20	103
22		大 久	四電モニタリングポイント No. 22	105
23		九町九町越	四電モニタリングポイント No. 23	93
24		仁田之浜	四電モニタリングポイント No. 24	91
21	八幡浜市	古 町	四電モニタリングポイント No. 21	113
26		江 戸 岡	四電モニタリングポイント No. 26	115

## (2) 大気試料、環境試料、排水中放射能

## ア 核種分析（高純度ゲルマニウム半導体検出器による機器分析）

項 目			町 採 取 地 点 名	(注1) 採 取 年 月 日	(注1) 測 定 年 月 日	測 定 値 (注2、3)															単 位	
						Be-7	Mn-54	Fe-59	Co-58	Co-60	Zn-65	Zr-95	Nb-95	Ru-103	Ru-106	Sb-125	I-131	Cs-134	Cs-137	Ce-141		Ce-144
大 気 試 料			伊 九 方 町 越 越	7. 3. 31～ 7. 4. 30	7. 5. 7	7. 13 ±0. 075	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	0. 62 ±0. 037	mBq/ m <sup>3</sup>	
				7. 4. 2～ 7. 4. 3	7. 4. 3																	
				7. 4. 30～ 7. 5. 30	7. 6. 2	4. 95 ±0. 062	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず		0. 55 ±0. 035
				7. 5. 22～ 7. 5. 23	7. 5. 23																	
				7. 5. 30～ 7. 6. 30	7. 7. 14	3. 30 ±0. 054	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず		0. 53 ±0. 035
		7. 6. 5～ 7. 6. 6	7. 6. 6																			
環 境 試 料	陸 上 試 料	土 壌	伊 九 方 町 越 公 町 園	7. 4. 9	7. 4. 28	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	10. 7 ±0. 34	検出されず	検出されず	195 ±5. 4	Bq/kg乾土
			伊 西 方 町 柿 ケ 谷	7. 4. 9	7. 4. 14	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	17. 2 ±0. 43	検出されず	検出されず	123 ±4. 8		
			伊 九 方 町 越 越	7. 4. 9	7. 4. 14	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	5. 9 ±0. 30	検出されず	検出されず	238 ±6. 2		
		植 物（杉 葉）	伊 九 方 町 越 越	7. 4. 15	7. 4. 18 7. 4. 17	11. 9 ±0. 16	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	71. 3 ±0. 53	Bq/kg生	
	海 洋 試 料	海 水	伊 平 方 町 瀬 透 過 堤 北 東	7. 5. 21	7. 5. 30	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	(注4)	mBq/L	
			伊 平 方 町 瀬 沖 入 江	7. 5. 21	7. 5. 30	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	1. 7 ±0. 48	検出されず	検出されず			
		海 底 土	伊 平 方 町 瀬 透 過 堤 北 東	7. 5. 21	7. 5. 27	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	133 ±4. 0	Bq/kg乾土	
			伊 平 方 町 瀬 沖 入 江	7. 5. 21	7. 5. 28	5. 6 ±1. 3	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	0. 63 ±0. 15	検出されず	検出されず	226 ±5. 0		
			伊 平 方 町 瀬 透 過 堤 東 方 沖	7. 5. 21	7. 5. 28	3. 4 ±1. 1	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	147 ±4. 0		
		海 産 生 物 類	サ ザ エ ホ ン ダ ワ ラ ク ロ メ	伊 平 方 町 瀬 沖 入 江	7. 4. 8	7. 4. 11 7. 4. 10	0. 79 ±0. 077	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	56. 7 ±0. 53	Bq/kg生	
				伊 平 方 町 瀬 沖 入 江	7. 4. 22	7. 4. 28 7. 4. 24	0. 65 ±0. 13	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	235 ±1. 2		
				伊 西 方 町 柿 ケ 谷 沖	7. 4. 22	7. 4. 30 7. 4. 24	1. 3 ±0. 17	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	265 ±1. 4		
				伊 平 方 町 瀬 沖 入 江	7. 4. 22	7. 4. 30 7. 4. 25	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	337 ±1. 5		

(注1) 採取・測定年月日が核種によって異なる場合には、上段に I-131 以外の核種、下段に I-131 の採取・測定年月日を示した。

ただし、大気試料は、上段に大気浮遊じん、下段に大気（放射性ヨウ素）の採取・測定年月日を示した。

また、大気試料の測定値は I-131 については塵状と気体状の合計値を示し、I-131 以外の核種については塵状の値を示した。

(注2) 試料の放射能  $N \pm \Delta N$  において、 $N < 3 \Delta N$  のときは、「検出されず」と表示した。

(注3) Be-7、K-40 は自然放射性核種である。

(注4) 海水の K-40 は、前処理で除かれているので、測定値欄を「/」と表示した。

イ 核種分析（放射化学分析等）

試 料	町 採 取 地 点 名	採取年月日	H-3		単 位
			測定年月日	測定値 <sup>(注)</sup>	
海 水	伊 方 町 平 瀬 透 過 堤 北 東	7. 5. 21	7. 5. 30	検出されず	Bq/L
	伊 方 町 平 瀬 沖 入 江	7. 5. 21	7. 5. 30	検出されず	

(注) 試料の放射能 $N \pm \Delta N$ において、 $N < 3 \Delta N$ のときは、「検出されず」と表示した。

ウ 排水の全計数率の10分間平均値の最大値（2"φ×2"NaI(Tl)シンチレーション検出器）

(単位：cps)

測 定 項 目	測 定 値				自動通報 設 定 値
	4 月	5 月	6 月	第1・四半期	
1・2号機放水口水モニタ	4.0	3.8	3.2	4.0	11.8
3号機放水ピット水モニタ	4.0	3.7	3.8	4.0	5.6

### 資料 3 伊方発電所の運転管理状況





## 1 伊方発電所の運転管理状況

令和7年度第1・四半期における運転管理状況は、次表のとおりであった。

項 目			運 転 実 績			保安規定に 定める値 <sup>(注1)</sup>	安全協定に 定める値		
			1 号 機	2 号 機	3 号 機				
運 転 時 間	1 号機、2 号機、3 号機別		— <sup>(注2)</sup>	— <sup>(注2)</sup>	2,184 時間				
	発 電 所 全 体		2,184 時間 <sup>(注3)</sup>						
発電電力量	1 号機、2 号機、3 号機別		— <sup>(注2)</sup>	— <sup>(注2)</sup>	2,004,946 MWH				
	発 電 所 全 体		2,004,946 MWH						
放射性物質 の 放 出 管 理 状 況	気	放射性 希ガス	1 号機、2 号機、3 号機別	検出されず <sup>(注4)</sup>	検出されず <sup>(注4)</sup>	検出されず <sup>(注4)</sup>			
		発 電 所 全 体	検出されず <sup>(注4)</sup>			3.7×10 <sup>14</sup> Bq／年 (放出管理目標値)			
	体	ヨウ素 -131	1 号機、2 号機、3 号機別	検出されず <sup>(注4)</sup>	検出されず <sup>(注4)</sup>	検出されず <sup>(注4)</sup>			
		発 電 所 全 体	検出されず <sup>(注4)</sup>			7.7×10 <sup>9</sup> Bq／年 (放出管理目標値)			
	液	トリチウム を除く	1・2 号機、3 号機別	検出されず <sup>(注4)</sup>		検出されず <sup>(注4)</sup>			
		発 電 所 全 体	検出されず <sup>(注4)</sup>			3.7×10 <sup>10</sup> Bq／年 (放出管理目標値)			
	体	トリチウム	1・2 号機、3 号機別	5.7×10 <sup>10</sup> Bq		5.0×10 <sup>12</sup> Bq			
		発 電 所 全 体	5.0 ×10 <sup>12</sup> Bq			5.6×10 <sup>13</sup> Bq／年 <sup>(注5)</sup> (放出管理の基準値)			
放 射 性 固 体 廃 棄 物 保 管 状 況 (貯蔵容量：38,500本)			累計 23,966 本 (200Lドラム缶) <sup>(注6)</sup>						
温 排 水 の 放 出 管 理 状 況 <sup>(注7)</sup>	残 留 塩 素	検出されず <sup>(注8)</sup>		検出されず <sup>(注8)</sup>				0.02ppm以下	
	硫 酸 第 一 鉄	検出されず <sup>(注8)</sup>		検出されず <sup>(注8)</sup>				鉄として 0.05ppm以下	
	p H (水素イオン濃度)	8.0～8.1		8.1				7.8～8.3	
	水温上昇月間平均値 <sup>(注9)</sup>	— <sup>(注10)</sup>		6.6					

(注1) 核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律に基づき、核燃料物質若しくは核燃料物質に汚染された物または発電用原子炉による災害の防止を図るために、伊方発電所の保安のために必要な措置を定めたもの。

(注2) 伊方発電所1号機は、平成28年5月10日に、伊方発電所2号機は、平成30年5月23日に運転終了。

(注3) 伊方発電所としての運転時間を示す。

(注4) 全ての検出限界濃度は、「発電用軽水型原子炉施設における放出放射性物質の測定に関する指針」の測定下限濃度（気体廃棄物（希ガス）：2×10<sup>-2</sup> Bq/cm<sup>3</sup>、液体廃棄物（トリチウムを除く）：2×10<sup>-2</sup> Bq/cm<sup>3</sup>（コバルト-60に対する値を代表として示す。）、気体廃棄物（ヨウ素-131）：7×10<sup>-9</sup> Bq/cm<sup>3</sup>）以下である。放出口における測定値がすべて検出限界濃度未満の場合に「検出されず」と表示する。

なお、検出限界濃度以上を検出した場合は、気体又は液体廃棄物中の放射能濃度の測定値（Bq/cm<sup>3</sup>）と排気量又は排水量（cm<sup>3</sup>）から放射性物質の放出量（Bq）を算出している。

仮に、当該指針に示されている測定下限濃度で放出されたものとして計算すると、次のとおりとなる。

・気体廃棄物（希ガス）：2×10<sup>-2</sup> (Bq/cm<sup>3</sup>) ×1.9 ×10<sup>15</sup> (cm<sup>3</sup>) =3.8 ×10<sup>13</sup> (Bq)

・気体廃棄物（ヨウ素-131）：7×10<sup>-9</sup> (Bq/cm<sup>3</sup>) ×1.9 ×10<sup>15</sup> (cm<sup>3</sup>) =1.3 ×10<sup>7</sup> (Bq)

・液体廃棄物（トリチウムを除く）：2×10<sup>-2</sup> (Bq/cm<sup>3</sup>) ※ ×7.2×10<sup>8</sup> (cm<sup>3</sup>) =1.4×10<sup>7</sup> (Bq)

※計算の例として、ここではコバルト-60の測定下限濃度を用いている。

(注5) トリチウムの公衆に与える影響が他の放射性物質によるものと比較して相対的に小さいため、放出管理目標値はなく、放出管理の基準値として管理している。

(注6) 固体廃棄物として、上表のほか、蒸気発生器保管庫に蒸気発生器4基、保管容器746 m<sup>3</sup>を保管

(注7) 温排水の放出管理状況についての測定は、1、2号機は放水口透過堤内、3号機は放水ピット内で実施

(注8) 残留塩素、硫酸第一鉄の検出限界は、0.01ppm

(注9) 循環水ポンプを動作させている期間の取放水口温度差の月間平均値

(注10) 復水器冷却用の海水は、1、2号機運転終了のため、取水していない。

## 2 伊方発電所における異常事象の有無

令和7年度第1・四半期には、伊方発電所において環境への放射性物質の放出を伴う異常事象の発生はなかった。

【参考】伊方発電所 1、2、3号機の運転状況（令和7年度第1・四半期）

（1号機）  
（廃止措置中）

（2号機）  
（廃止措置中）

（3号機）

